

平成 25 年度

備前市 市民意識調査報告書

平成 25 年 7 月

目次

I. 調査概要	4
1. 調査目的	4
2. 調査方法	4
3. 回収結果	4
4. 留意点	5
II. 調査結果	6
1. 備前市の総合点	6
2. 住みやすさ	7
3. 定住意向	9
4. 市の取り組み（施策）の重要度・満足度の分析.....	10
5. 市の取り組み（施策）の重要度の分析.....	19
6. 市の取り組み（施策）の満足度の分析.....	23
7. 市民の行動・感じ方.....	27
8. 自由意見	44
9. 回答者の属性	45
III. 巻末資料	51

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市が担うサービスの受け手である市民のみなさまに、市のこれまでの取り組みに対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお伺いし、今後の市政運営の基礎資料として役立てることを目的としています。

2. 調査方法

(1) 調査方法

岡山県備前市全域

(2) 調査対象

市内在住の 20 歳以上 75 歳未満の男女 2,000 人

(3) 抽出方法

平成 25 年 4 月 1 日現在、満 18 歳以上 75 歳未満の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

(5) 調査期間

平成 25 年 4 月 19 日(金)～5 月 7 日(火)

3. 回収結果

	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年	H22 年	H23 年	H24 年	H25 年
抽出数 (a)	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
返送 (b)	18	13	10	6	8	11	8	7
実送付数 (c)=(a)-(b)	2,982	1,987	1,990	1,994	1,992	1,989	1,992	1,993
有効回答数 (d)	1,306	906	892	977	811	892	702	844
有効回答率 (d)÷(c)	43.8%	45.6%	44.8%	49.0%	40.6%	44.8%	35.2%	42.3%

注) 返送は、転居先不明などにより返ってきたものです。

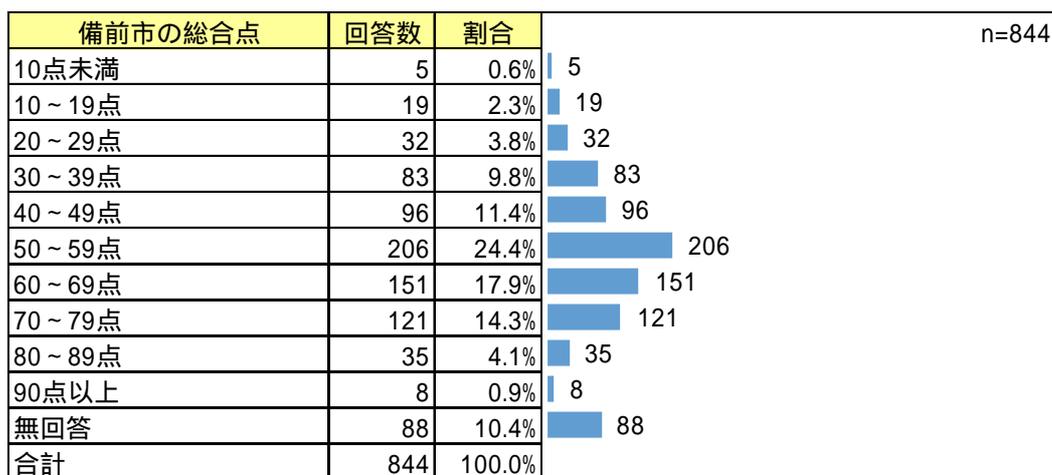
4. 留意点

- (1) 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問対象者数を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の場合の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

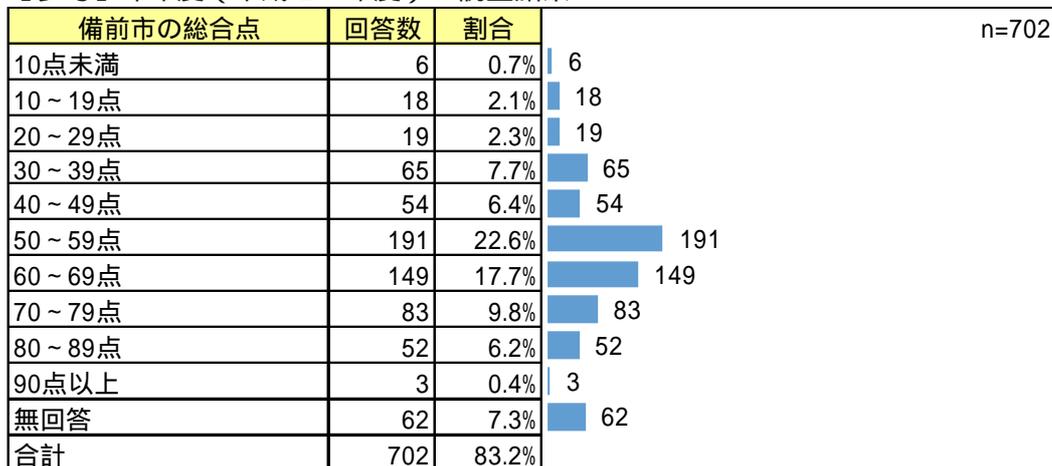
II. 調査結果

1. 備前市の総合点

備前市の総合点に関する調査（問 6 備前市全体についておうかがいします。現在、あなたにとって備前市（まち全体）は、100点満点で何点ですか？）の結果、「50～59点」が151件（24.4%）、「60～69点」が151件（17.9%）、「70～79点」が121件（14.3%）となっています。



【参考】昨年度（平成24年度）の調査結果



2. 住みやすさ

(1) 住みやすさ

備前市の住みやすさに関する調査（問 3 あなたは、備前市の住みやすさについてどう思われますか？）の結果、「住みよい」が 60 件（7.1%）、「まあ住みよい」が 268 件（31.8%）であり、住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答した市民が 328 件（38.9%）となっています。

住みやすさ(市全体)	回答数	割合		n=844
住みよい	60	7.1%	60	
まあ住みよい	268	31.8%	268	
どちらともいえない	213	25.2%	213	
どちらかといえば住みにくい	149	17.7%	149	
住みにくい	113	13.4%	113	
わからない	11	1.3%	11	
無回答	30	3.6%	30	
合計	844	100.0%		

また、地域別の結果は、以下のとおりです。住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答した市民は、備前地域が 225 件（40.4%）、日生地域が 64 件（41.3%）、吉永地域が 38 件（33.3%）となっており、備前地域及び日生地域では、備前市全体と比べて、住みよい（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と回答している市民の割合が高くなっています。

住みやすさ(備前地域)	回答数	割合		n=557
住みよい	41	7.4%	41	
まあ住みよい	184	33.0%	184	
どちらともいえない	129	23.2%	129	
どちらかといえば住みにくい	103	18.5%	103	
住みにくい	71	12.7%	71	
わからない	8	1.4%	8	
無回答	21	3.8%	21	
合計	557	100.0%		

住みやすさ(日生地域)	回答数	割合		n=155
住みよい	13	8.4%	13	
まあ住みよい	51	32.9%	51	
どちらともいえない	53	34.2%	53	
どちらかといえば住みにくい	16	10.3%	16	
住みにくい	18	11.6%	18	
わからない	2	1.3%	2	
無回答	2	1.3%	2	
合計	155	100.0%		

住みやすさ(吉永地域)	回答数	割合		n=114
住みよい	5	4.4%	5	
まあ住みよい	33	28.9%	33	
どちらともいえない	27	23.7%	27	
どちらかといえば住みにくい	25	21.9%	25	
住みにくい	19	16.7%	19	
わからない	1	0.9%	1	
無回答	4	3.5%	4	
合計	114	100.0%		

(2) 住みよいと感じている理由

備前市の住みやすさに関する調査(問1 あなたは、備前市が住みよいと感じるのはどんなことですか?(は2つまで))の結果、「自然環境の良さ」が358件、「特にない」が228件、「水資源の豊富さ」が201件となっています。

住みよい理由	回答数		n=784
自然環境の良さ	358	358	
特にない	228	228	
水資源の豊富さ	201	201	
近所づきあいの良さ	95	95	
買物の便利さ	81	81	
医療や福祉の充実	49	49	
道路事情の良さ	36	36	
公共交通の便利さ	24	24	
子育て支援の充実	20	20	
余暇が楽しめる	17	17	
街並みの良さ	16	16	
教育環境の良さ	12	12	
魅力的な職場がある	5	5	
情報インフラの充実	3	3	
その他	22	22	

(3) 住みにくいと感じている理由

備前市の住みやすさに関する調査（問 2 あなたは、備前市が住みにくいと感じるのはどんなことですか？（は 2 つまで））の結果、「公共交通の不便さ」が 338 件、「買物の不便さ」が 257 件、「魅力的な職場がない」が 184 件となっています。

住みにくい理由	回答数		n=745
公共交通の不便さ	338		338
買物の不便さ	257		257
魅力的な職場がない	184		184
医療や福祉が不十分	96		96
道路事情の悪さ	75		75
余暇が楽しめない	73		73
特にない	71		71
近所づきあいの難しさ	52		52
教育環境の悪さ	35		35
街並みの悪さ	34		34
情報インフラが不十分	30		30
子育て支援が不十分	22		22
自然環境の悪さ	7		7
水資源の悪さ	5		5
その他	30		30

3. 定住意向

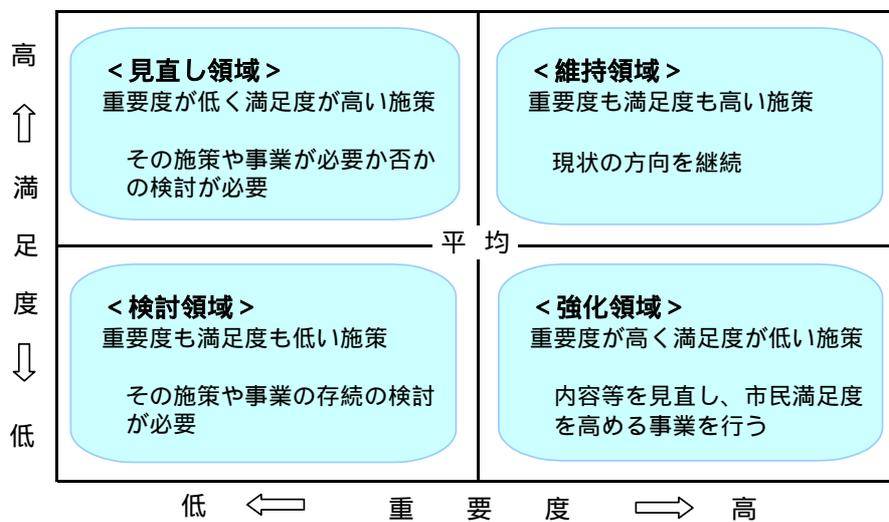
定住意向に関する調査（問 4 あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか？）の結果、「今の場所に住み続けたい」が 432 件（51.2%）、「市内でよいところがあれば引っ越したい」が 60 件（7.1%）であり、備前市に定住したいと考えている市民は 492 件（58.3%）となっており、全体の約 6 割を占めています。

定住意向(市全体)	回答数	割合		n=844
今の場所に住み続けたい	432	51.2%		432
市内でよいところがあれば引っ越したい	60	7.1%		60
市外へ引っ越したい	169	20.0%		169
わからない	145	17.2%		145
無回答	38	4.5%		38
合計	844	100.0%		

4. 市の取り組み（施策）の重要度・満足度の分析

市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットした散布図を次ページ以降に示しています。「強化領域」に位置する施策は、重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い、逆に「見直し領域」に位置する施策は重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高いということを表しています。また、「維持領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より高い、逆に「検討領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より低いということを表しています。

市民意識調査によるサービス改善



なお、市の取り組み（施策）の重要度及び満足度は、次のように算定しています。

【重要度及び満足度の算出方法】

重要度 = 合計点数（ 1 ） / 有効回答数（ 999 を除く ）

満足度 = 合計点数（ 2 ） / 有効回答数（ 999 を除く ）

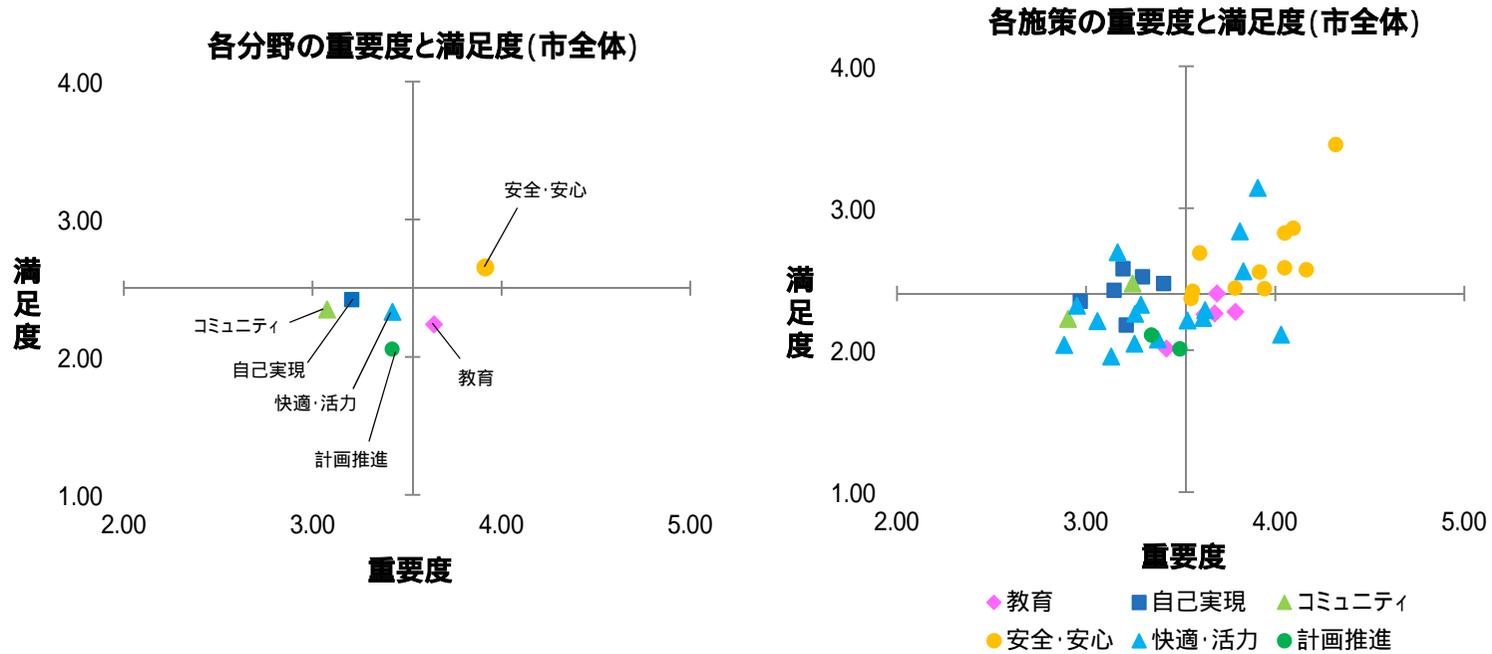
（ 1 ）重要：5 点、やや重要：4 点、どちらともいえない：3 点、あまり重要でない：2 点、重要でない：1 点、わからない：0 点

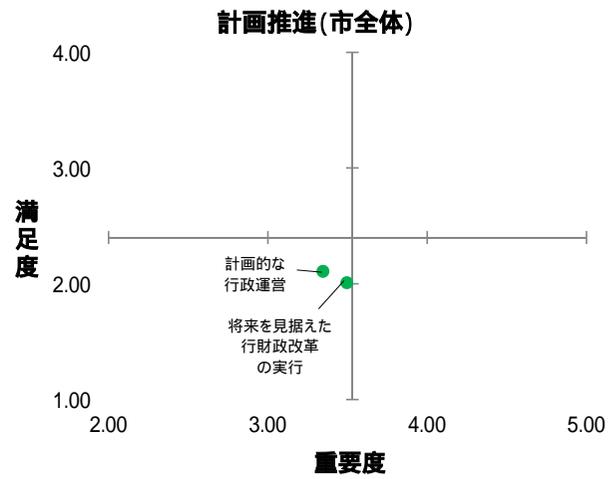
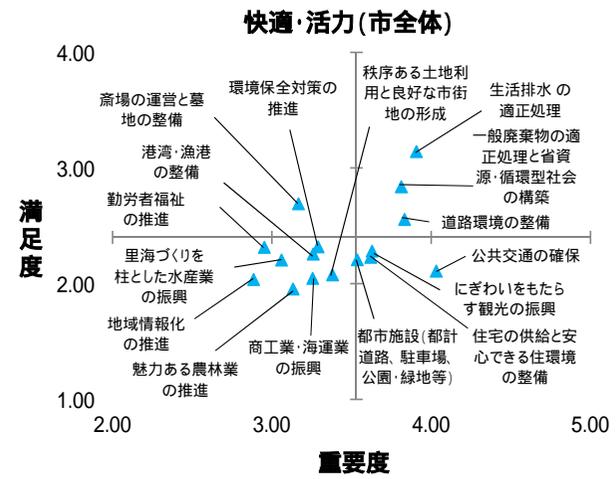
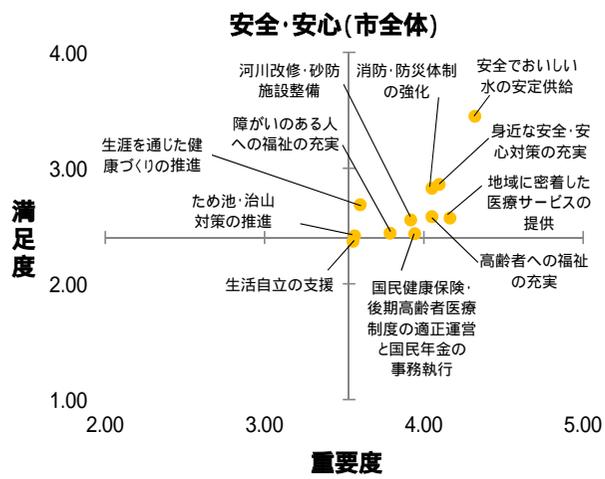
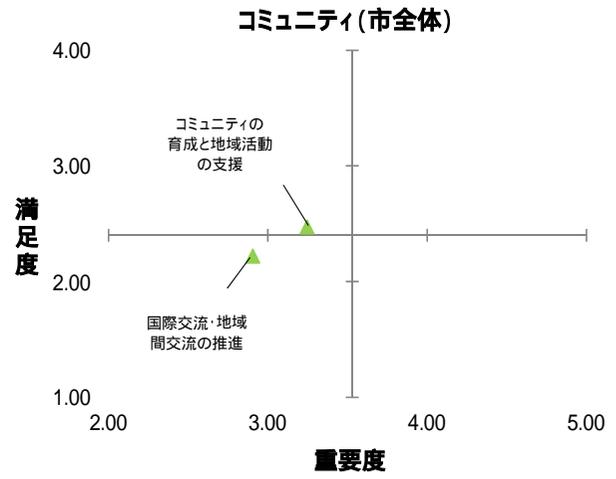
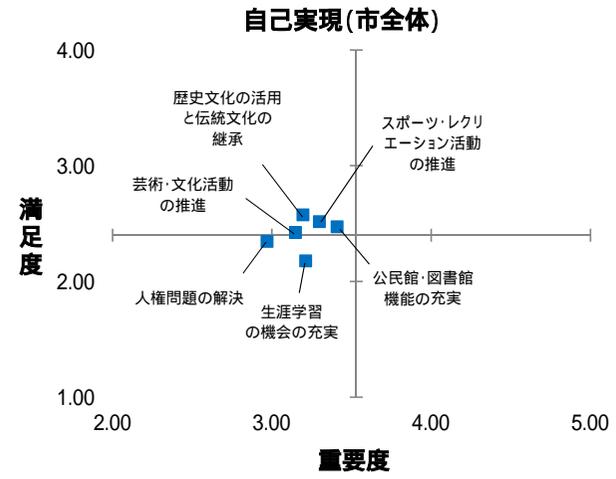
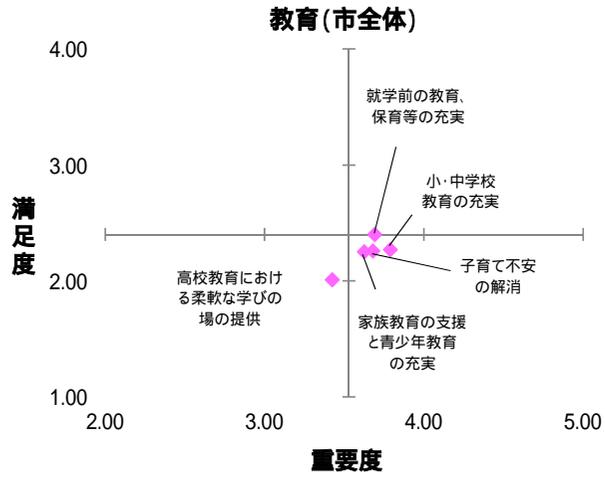
（ 2 ）満足：5 点、まあ満足：4 点、どちらともいえない：3 点、やや不満：2 点、不満：1 点、わからない：0 点

新総合計画の策定にあたって施策体系を見直したため、昨年度までの市民意識調査結果との比較は実施しておりません。

(1) 備前市全体の重要度・満足度

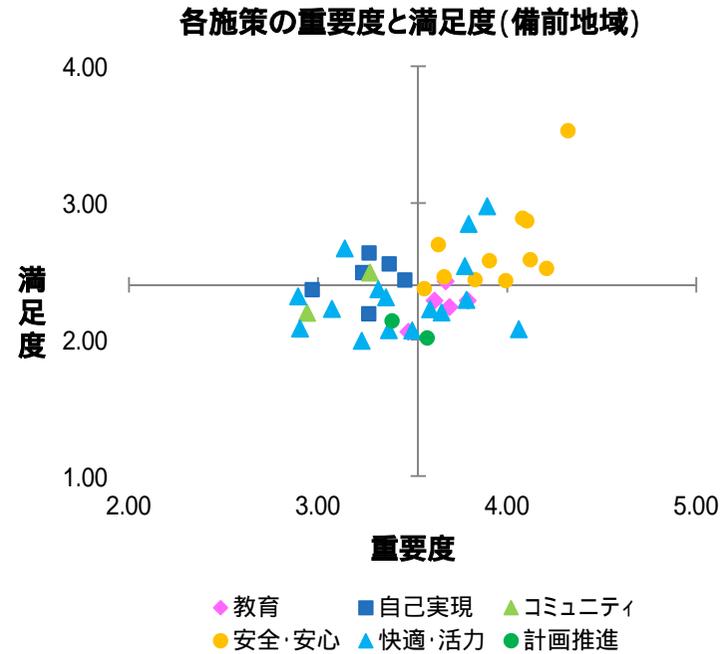
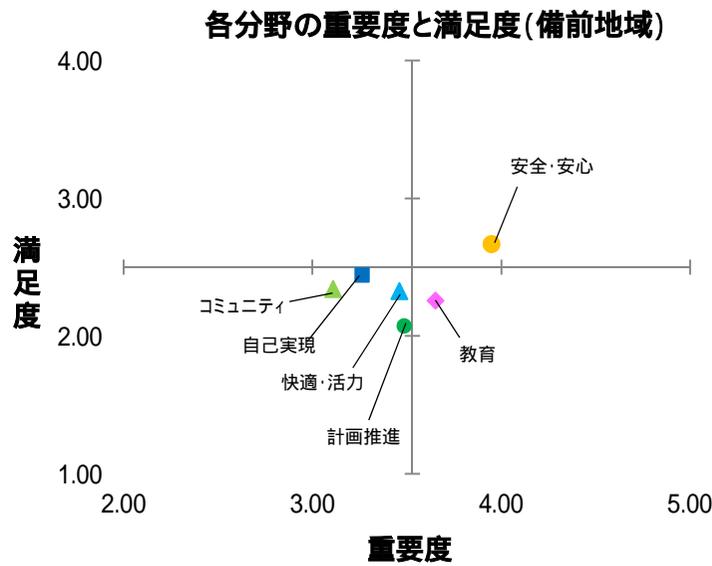
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.53、満足度 2.40）を交点としたグラフに各施策の備前市全体の結果をプロットする形で示しています。備前市全体における各分野の重要度と満足度は「安全・安心」が維持領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。

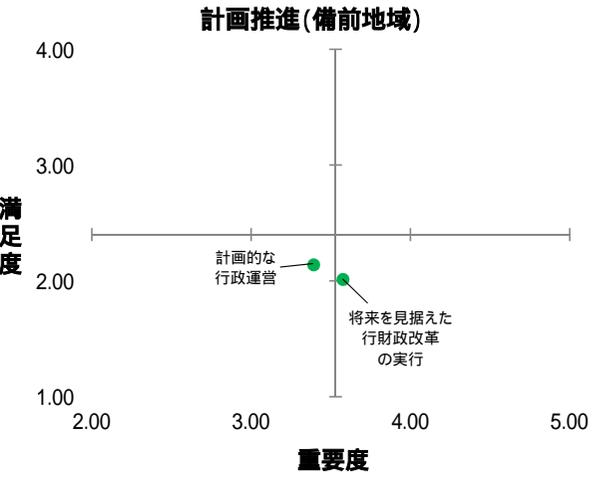
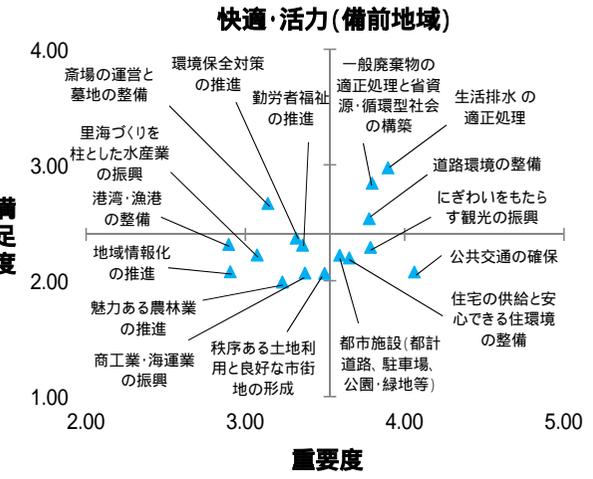
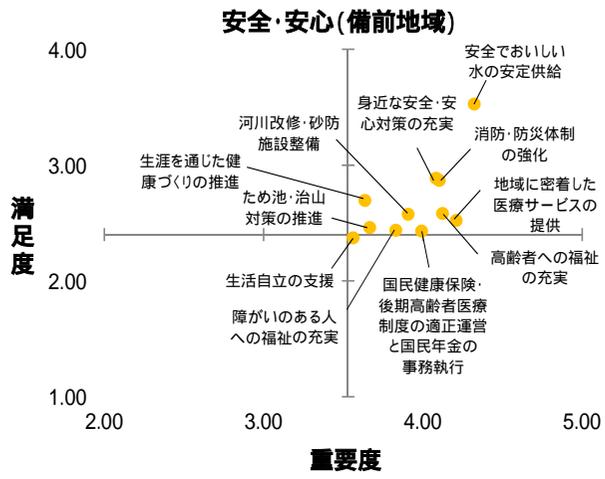
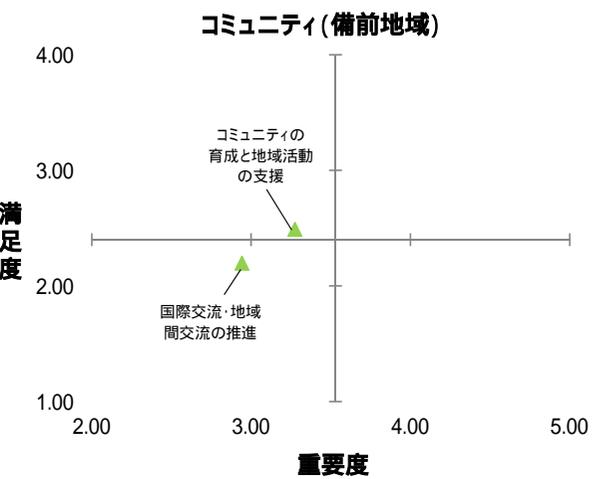
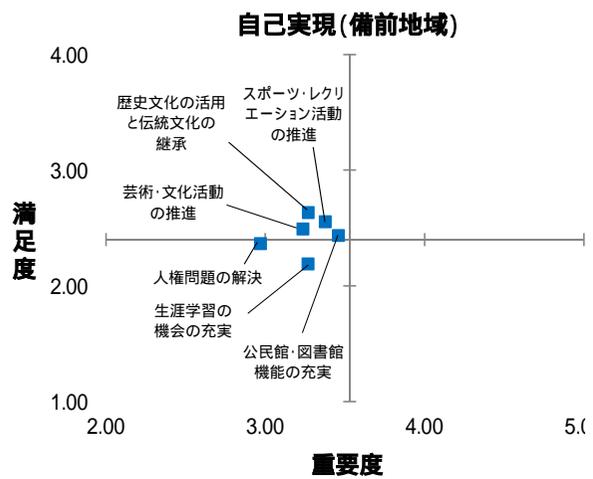
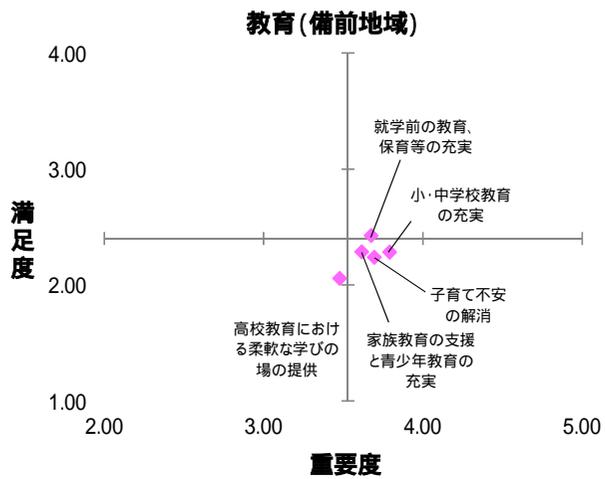




(2) 備前地域の重要度・満足度

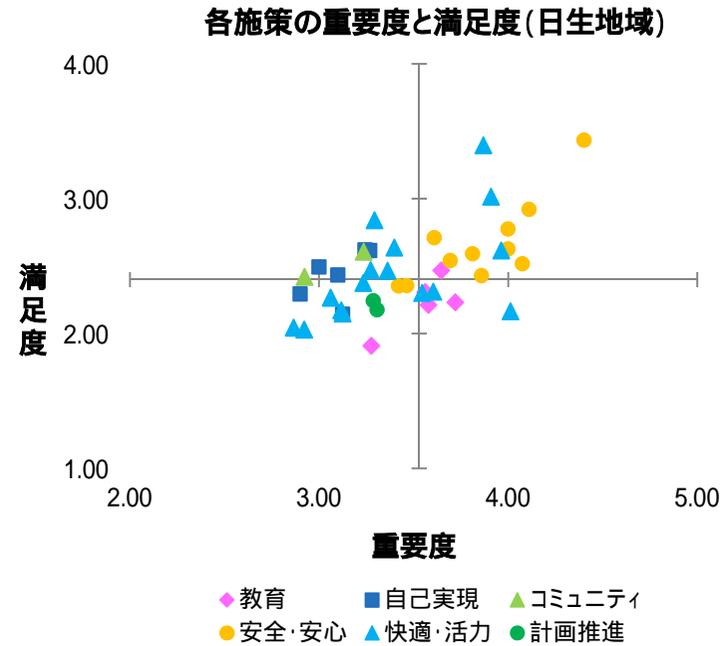
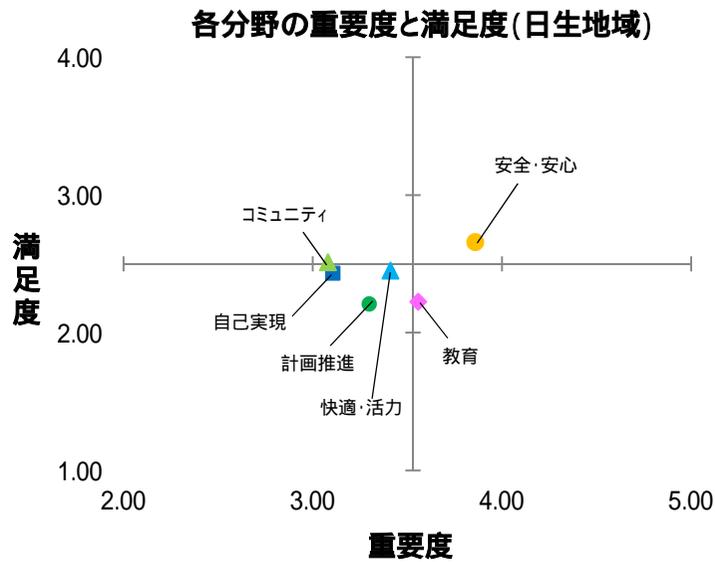
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.53、満足度 2.40）を交点としたグラフに各施策の備前地域の結果をプロットする形で示しています。備前地域における各分野の重要度と満足度は「安全・安心」が維持領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。

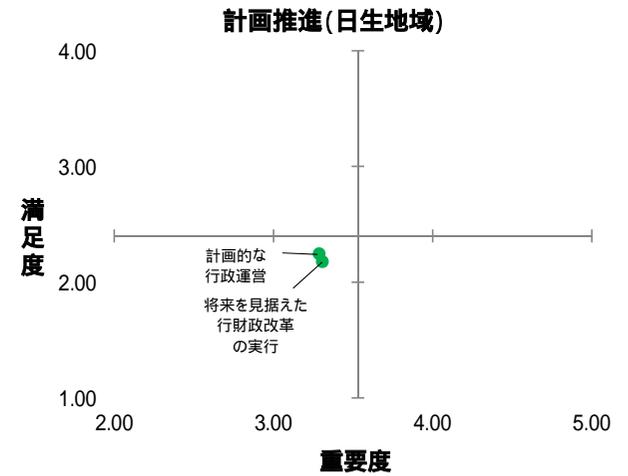
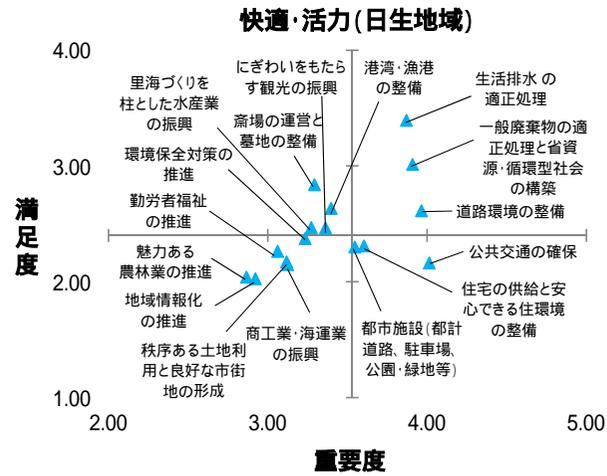
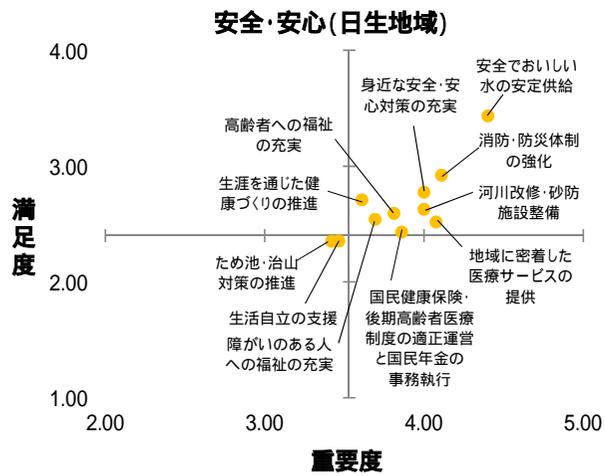
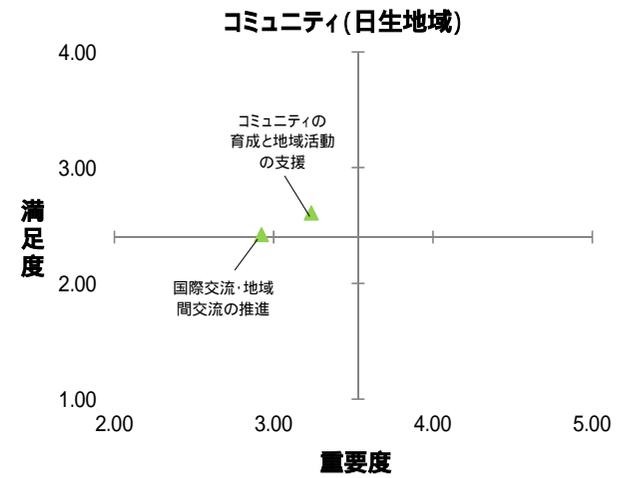
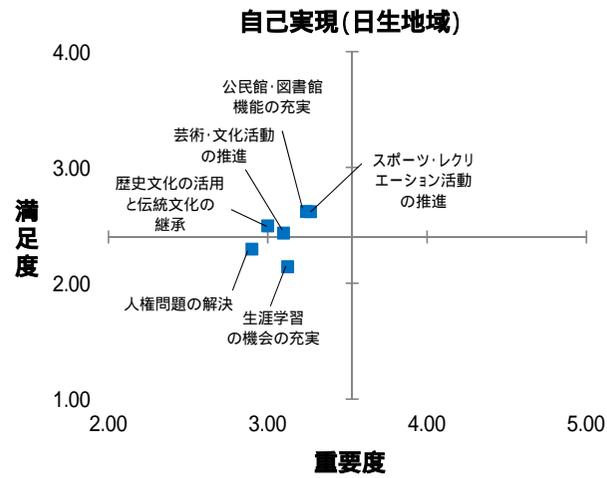
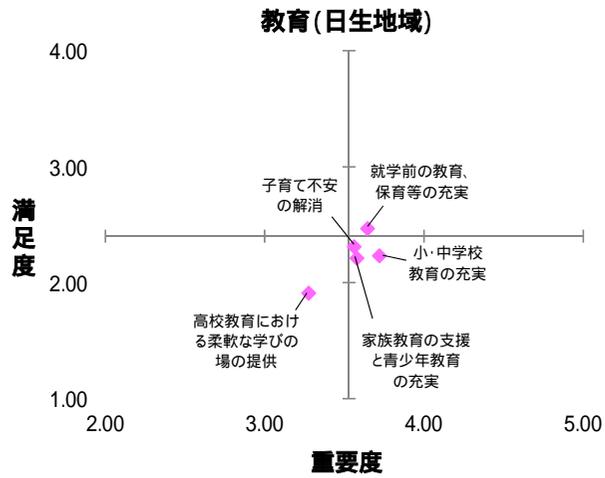




(3) 日生地域の重要度・満足度

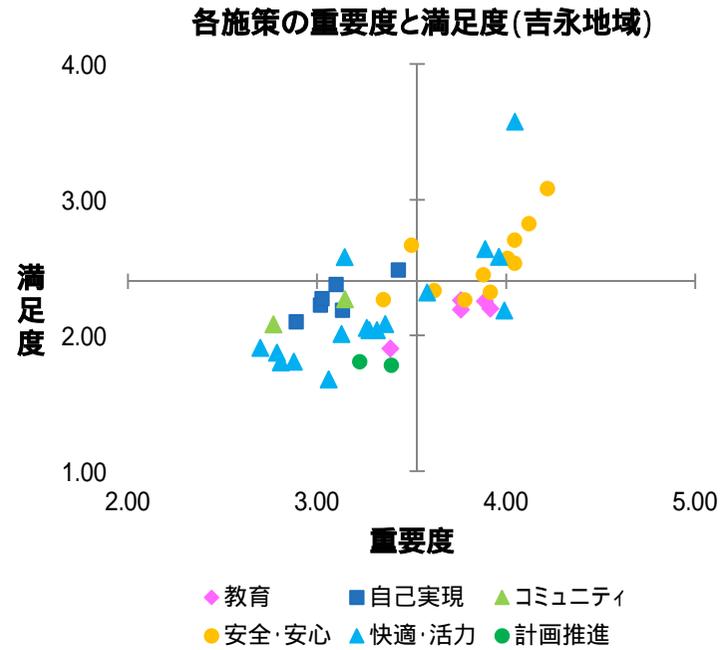
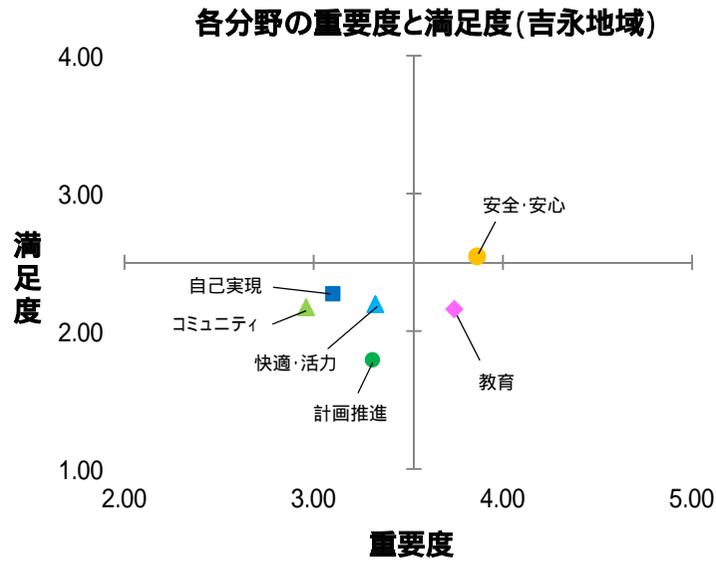
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.53、満足度 2.40）を交点としたグラフに各施策の日生地域の結果をプロットする形で示しています。日生地域における各分野の重要度と満足度は「安全・安心」が維持領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。



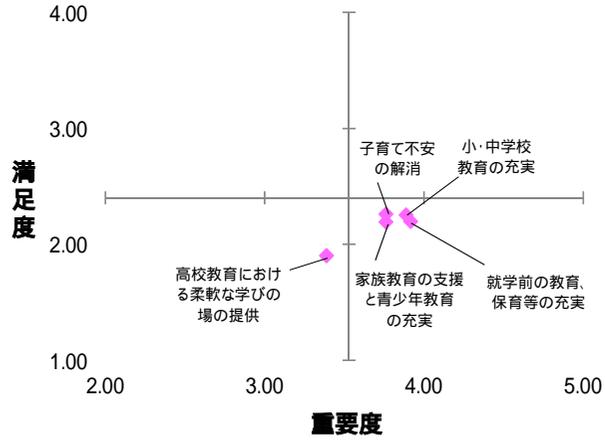


(4) 吉永地域の重要度・満足度

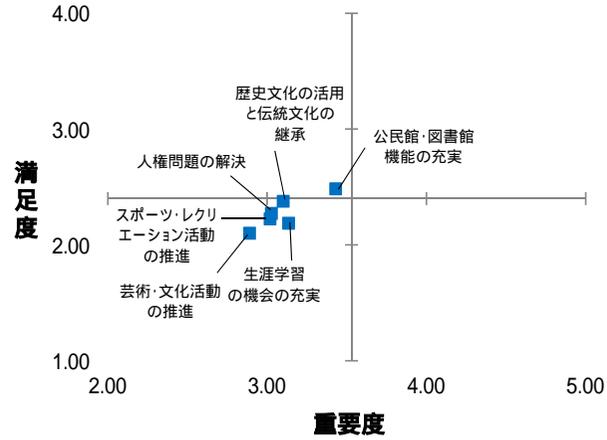
ここでは市の取り組み（全 42 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 3.53、満足度 2.40）を交点としたグラフに各施策の吉永地域の結果をプロットする形で示しています。吉永地域における各分野の重要度と満足度は「安全・安心」が維持領域となっています。また、分野ごとの各施策の重要度と満足度は、次ページに示しています。



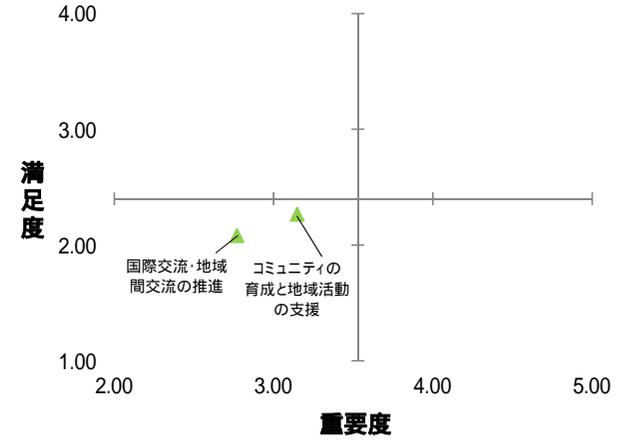
教育(吉永地域)



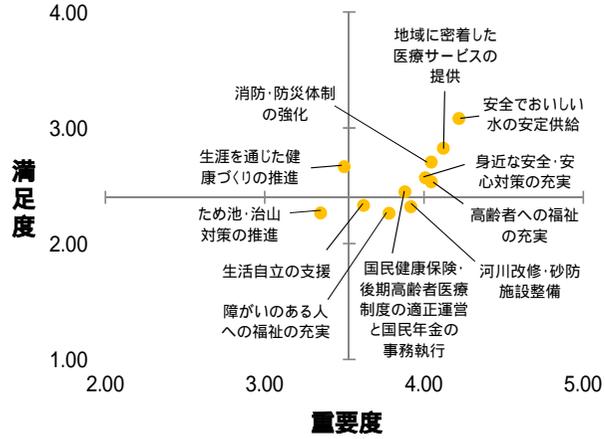
自己実現(吉永地域)



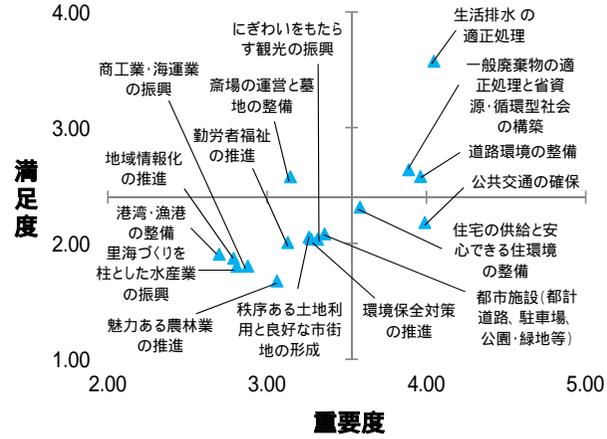
コミュニティ(吉永地域)



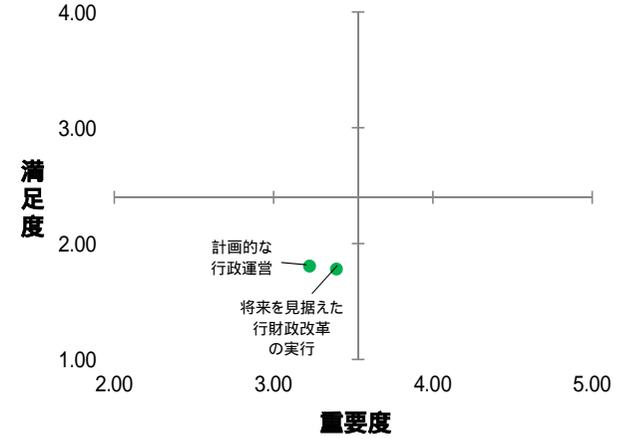
安全・安心(吉永地域)



快適・活力(吉永地域)



計画推進(吉永地域)



5. 市の取り組み（施策）の重要度の分析

(1) 備前市全体の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関する調査（問 5 あなたは、市（市役所）の将来のまちづくりにとって、それぞれの取り組みがどの程度重要だと思いますか？）の結果、もっとも重要度が高かった施策は「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.32）であり、次いで、「地域に密着した医療サービスの提供」（重要度 4.16）、「消防・防災体制の強化」（重要度 4.10）となっています。

No.	施策 No.	施策(市全体)	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.32	4.32
2	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.16	4.16
3	16	消防・防災体制の強化	4.10	4.10
4	15	身近な安全・安心対策の充実	4.05	4.05
5	21	高齢者への福祉の充実	4.05	4.05
6	36	公共交通の確保	4.03	4.03
7	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.94	3.94
8	17	河川改修・砂防施設整備	3.92	3.92
9	33	生活排水の適正処理	3.91	3.91
10	34	道路環境の整備	3.83	3.83
11	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.81	3.81
12	3	小・中学校教育の充実	3.79	3.79
13	20	障がいのある人への福祉の充実	3.79	3.79
14	2	就学前の教育、保育等の充実	3.69	3.69
15	4	子育て不安の解消	3.68	3.68
16	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.63	3.63
17	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.63	3.63
18	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.62	3.62
19	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.60	3.60
20	18	ため池・治山対策の推進	3.56	3.56
21	19	生活自立の支援	3.56	3.56
22	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	3.54	3.54
23	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.50	3.50
24	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.43	3.43
25	7	公民館・図書館機能の充実	3.41	3.41
26	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.38	3.38
27	41	計画的な行政運営	3.35	3.35
28	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.30	3.30
29	40	環境保全対策の推進	3.29	3.29
30	29	勤労者福祉の推進	3.26	3.26
31	27	商工業・海運業の振興	3.26	3.26
32	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.25	3.25
33	6	生涯学習の機会の充実	3.21	3.21
34	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.20	3.20
35	39	斎場の運営と墓地の整備	3.17	3.17
36	11	芸術・文化活動の推進	3.15	3.15
37	25	魅力ある農林業の推進	3.13	3.13
38	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.06	3.06
39	9	人権問題の解決	2.97	2.97
40	35	港湾・漁港の整備	2.95	2.95
41	13	国際交流・地域間交流の推進	2.91	2.91
42	37	地域情報化の推進	2.89	2.89

(2) 備前地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、備前地域において、もっとも重要度が高かった施策は「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.32）であり、次いで、「地域に密着した医療サービスの提供」（重要度 4.21）、「高齢者への福祉の充実」（重要度 4.12）となっています。

No.	施策 No.	施策	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.32	4.32
2	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.21	4.21
3	21	高齢者への福祉の充実	4.12	4.12
4	16	消防・防災体制の強化	4.10	4.10
5	15	身近な安全・安心対策の充実	4.08	4.08
6	36	公共交通の確保	4.06	4.06
7	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.99	3.99
8	17	河川改修・砂防施設整備	3.91	3.91
9	33	生活排水の適正処理	3.90	3.90
10	20	障がいのある人への福祉の充実	3.83	3.83
11	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.80	3.80
12	3	小・中学校教育の充実	3.79	3.79
13	28	にぎわいをもたらず観光の振興	3.79	3.79
14	34	道路環境の整備	3.78	3.78
15	4	子育て不安の解消	3.70	3.70
16	2	就学前の教育、保育等の充実	3.68	3.68
17	18	ため池・治山対策の推進	3.67	3.67
18	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.65	3.65
19	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.64	3.64
20	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.62	3.62
21	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	3.59	3.59
22	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.58	3.58
23	19	生活自立の支援	3.56	3.56
24	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.50	3.50
25	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.48	3.48
26	7	公民館・図書館機能の充実	3.46	3.46
27	41	計画的な行政運営	3.39	3.39
28	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.38	3.38
29	27	商工業・海運業の振興	3.38	3.38
30	29	勤労者福祉の推進	3.36	3.36
31	40	環境保全対策の推進	3.32	3.32
32	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.28	3.28
33	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.27	3.27
34	6	生涯学習の機会の充実	3.27	3.27
35	11	芸術・文化活動の推進	3.24	3.24
36	25	魅力ある農林業の推進	3.23	3.23
37	39	斎場の運営と墓地の整備	3.14	3.14
38	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.07	3.07
39	9	人権問題の解決	2.97	2.97
40	13	国際交流・地域間交流の推進	2.94	2.94
41	37	地域情報化の推進	2.91	2.91
42	35	港湾・漁港の整備	2.90	2.90

(3) 日生地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、日生地域において、もっとも重要度が高かった施策は「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.40）であり、次いで、「消防・防災体制の強化」（重要度 4.11）、「地域に密着した医療サービスの提供」（重要度 4.08）となっています。

No.	施策 No.	施策	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.40	4.40
2	16	消防・防災体制の強化	4.11	4.11
3	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.08	4.08
4	36	公共交通の確保	4.01	4.01
5	15	身近な安全・安心対策の充実	4.00	4.00
6	17	河川改修・砂防施設整備	4.00	4.00
7	34	道路環境の整備	3.97	3.97
8	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.91	3.91
9	33	生活排水の適正処理	3.87	3.87
10	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.86	3.86
11	21	高齢者への福祉の充実	3.81	3.81
12	3	小・中学校教育の充実	3.72	3.72
13	20	障がいのある人への福祉の充実	3.69	3.69
14	2	就学前の教育、保育等の充実	3.65	3.65
15	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.61	3.61
16	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.60	3.60
17	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.58	3.58
18	4	子育て不安の解消	3.56	3.56
19	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	3.55	3.55
20	19	生活自立の支援	3.47	3.47
21	18	ため池・治山対策の推進	3.42	3.42
22	35	港湾・漁港の整備	3.40	3.40
23	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.36	3.36
24	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.31	3.31
25	39	斎場の運営と墓地の整備	3.29	3.29
26	41	計画的な行政運営	3.29	3.29
27	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.28	3.28
28	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	3.27	3.27
29	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.27	3.27
30	7	公民館・図書館機能の充実	3.24	3.24
31	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.24	3.24
32	40	環境保全対策の推進	3.23	3.23
33	27	商工業・海運業の振興	3.13	3.13
34	6	生涯学習の機会の充実	3.13	3.13
35	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.12	3.12
36	11	芸術・文化活動の推進	3.10	3.10
37	29	勤労者福祉の推進	3.06	3.06
38	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.00	3.00
39	13	国際交流・地域間交流の推進	2.92	2.92
40	37	地域情報化の推進	2.92	2.92
41	9	人権問題の解決	2.90	2.90
42	25	魅力ある農林業の推進	2.87	2.87

(4) 吉永地域の重要度

市の取り組み（施策）の重要度に関して、吉永地域において、もっとも重要度が高かった施策は「安全でおいしい水の安定供給」（重要度 4.22）であり、次いで、「地域に密着した医療サービスの提供」（重要度 4.12）、「生活排水の適正処理」（重要度 4.05）となっています。

No.	施策 No.	施策	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	4.22	4.22
2	24	地域に密着した医療サービスの提供	4.12	4.12
3	33	生活排水の適正処理	4.05	4.05
4	21	高齢者への福祉の充実	4.05	4.05
5	16	消防・防災体制の強化	4.05	4.05
6	15	身近な安全・安心対策の充実	4.01	4.01
7	36	公共交通の確保	3.99	3.99
8	34	道路環境の整備	3.96	3.96
9	17	河川改修・砂防施設整備	3.92	3.92
10	2	就学前の教育、保育等の充実	3.92	3.92
11	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.89	3.89
12	3	小・中学校教育の充実	3.89	3.89
13	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	3.88	3.88
14	20	障がいのある人への福祉の充実	3.78	3.78
15	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	3.76	3.76
16	4	子育て不安の解消	3.76	3.76
17	19	生活自立の支援	3.62	3.62
18	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	3.58	3.58
19	23	生涯を通じた健康づくりの推進	3.50	3.50
20	7	公民館・図書館機能の充実	3.43	3.43
21	42	将来を見据えた行財政改革の実行	3.39	3.39
22	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	3.39	3.39
23	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	3.36	3.36
24	18	ため池・治山対策の推進	3.35	3.35
25	28	にぎわいをもたらす観光の振興	3.32	3.32
26	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	3.28	3.28
27	40	環境保全対策の推進	3.26	3.26
28	41	計画的な行政運営	3.23	3.23
29	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	3.15	3.15
30	39	斎場の運営と墓地の整備	3.15	3.15
31	6	生涯学習の機会の充実	3.13	3.13
32	29	勤労者福祉の推進	3.13	3.13
33	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	3.10	3.10
34	25	魅力ある農林業の推進	3.06	3.06
35	9	人権問題の解決	3.03	3.03
36	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.02	3.02
37	11	芸術・文化活動の推進	2.89	2.89
38	27	商工業・海運業の振興	2.88	2.88
39	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.81	2.81
40	37	地域情報化の推進	2.79	2.79
41	13	国際交流・地域間交流の推進	2.77	2.77
42	35	港湾・漁港の整備	2.70	2.70

6. 市の取り組み（施策）の満足度の分析

(1) 備前市全体の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関する調査（問 5 あなたは、現状の取り組みにどの程度満足していますか？）の結果、もっとも満足度が高かった施策は、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.45）であり、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 3.14）、「消防・防災体制の強化」（満足度 2.86）となっています。

No.	施策 No.	施策(市全体)	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.45	3.45
2	33	生活排水の適正処理	3.14	3.14
3	16	消防・防災体制の強化	2.86	2.86
4	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	2.84	2.84
5	15	身近な安全・安心対策の充実	2.82	2.82
6	39	斎場の運営と墓地の整備	2.69	2.69
7	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.68	2.68
8	21	高齢者への福祉の充実	2.58	2.58
9	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.57	2.57
10	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.57	2.57
11	34	道路環境の整備	2.56	2.56
12	17	河川改修・砂防施設整備	2.55	2.55
13	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.52	2.52
14	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.47	2.47
15	7	公民館・図書館機能の充実	2.47	2.47
16	20	障がいのある人への福祉の充実	2.44	2.44
17	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.43	2.43
18	11	芸術・文化活動の推進	2.42	2.42
19	18	ため池・治山対策の推進	2.41	2.41
20	2	就学前の教育、保育等の充実	2.40	2.40
21	19	生活自立の支援	2.37	2.37
22	9	人権問題の解決	2.34	2.34
23	40	環境保全対策の推進	2.32	2.32
24	35	港湾・漁港の整備	2.31	2.31
25	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.28	2.28
26	3	小・中学校教育の充実	2.27	2.27
27	4	子育て不安の解消	2.26	2.26
28	29	勤労者福祉の推進	2.26	2.26
29	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.25	2.25
30	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.23	2.23
31	13	国際交流・地域間交流の推進	2.22	2.22
32	31	都市施設(都計道路、駐車場、公園・緑地等)	2.21	2.21
33	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.20	2.20
34	6	生涯学習の機会の充実	2.18	2.18
35	36	公共交通の確保	2.11	2.11
36	41	計画的な行政運営	2.11	2.11
37	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.08	2.08
38	27	商工業・海運業の振興	2.05	2.05
39	37	地域情報化の推進	2.04	2.04
40	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.01	2.01
41	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.01	2.01
42	25	魅力ある農林業の推進	1.95	1.95

(2) 備前地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、備前地域において、もっとも満足度が高かった施策は、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.53）であり、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 2.98）、「身近な安全・安心対策の充実」（満足度 2.89）となっています。

No.	施策 No.	施策	満足度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.53	3.53
2	33	生活排水の適正処理	2.98	2.98
3	15	身近な安全・安心対策の充実	2.89	2.89
4	16	消防・防災体制の強化	2.87	2.87
5	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	2.84	2.84
6	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.69	2.69
7	39	斎場の運営と墓地の整備	2.67	2.67
8	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.63	2.63
9	21	高齢者への福祉の充実	2.58	2.58
10	17	河川改修・砂防施設整備	2.58	2.58
11	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.55	2.55
12	34	道路環境の整備	2.54	2.54
13	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.52	2.52
14	11	芸術・文化活動の推進	2.49	2.49
15	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.49	2.49
16	18	ため池・治山対策の推進	2.46	2.46
17	20	障がいのある人への福祉の充実	2.44	2.44
18	7	公民館・図書館機能の充実	2.43	2.43
19	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.43	2.43
20	2	就学前の教育、保育等の充実	2.43	2.43
21	19	生活自立の支援	2.37	2.37
22	40	環境保全対策の推進	2.37	2.37
23	9	人権問題の解決	2.36	2.36
24	35	港湾・漁港の整備	2.31	2.31
25	29	勤労者福祉の推進	2.31	2.31
26	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.29	2.29
27	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.28	2.28
28	3	小・中学校教育の充実	2.28	2.28
29	4	子育て不安の解消	2.24	2.24
30	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.22	2.22
31	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	2.22	2.22
32	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.20	2.20
33	13	国際交流・地域間交流の推進	2.19	2.19
34	6	生涯学習の機会の充実	2.19	2.19
35	41	計画的な行政運営	2.14	2.14
36	37	地域情報化の推進	2.08	2.08
37	36	公共交通の確保	2.08	2.08
38	27	商工業・海運業の振興	2.07	2.07
39	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.07	2.07
40	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	2.05	2.05
41	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.01	2.01
42	25	魅力ある農林業の推進	1.99	1.99

(3) 日生地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、日生地域において、もっとも満足度が高かった施策は、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.43）であり、次いで、「生活排水の適正処理」（満足度 3.39）、「一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築」（満足度 3.01）となっています。

No.	施策 No.	施策	重要度	
1	14	安全でおいしい水の安定供給	3.43	3.43
2	33	生活排水の適正処理	3.39	3.39
3	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	3.01	3.01
4	16	消防・防災体制の強化	2.92	2.92
5	39	斎場の運営と墓地の整備	2.84	2.84
6	15	身近な安全・安心対策の充実	2.77	2.77
7	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.71	2.71
8	35	港湾・漁港の整備	2.64	2.64
9	17	河川改修・砂防施設整備	2.63	2.63
10	7	公民館・図書館機能の充実	2.62	2.62
11	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.61	2.61
12	34	道路環境の整備	2.61	2.61
13	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.61	2.61
14	21	高齢者への福祉の充実	2.59	2.59
15	20	障がいのある人への福祉の充実	2.54	2.54
16	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.52	2.52
17	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.49	2.49
18	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	2.47	2.47
19	2	就学前の教育、保育等の充実	2.47	2.47
20	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.46	2.46
21	11	芸術・文化活動の推進	2.43	2.43
22	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.43	2.43
23	13	国際交流・地域間交流の推進	2.42	2.42
24	40	環境保全対策の推進	2.37	2.37
25	19	生活自立の支援	2.35	2.35
26	18	ため池・治山対策の推進	2.35	2.35
27	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.31	2.31
28	4	子育て不安の解消	2.31	2.31
29	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	2.30	2.30
30	9	人権問題の解決	2.29	2.29
31	29	勤労者福祉の推進	2.26	2.26
32	41	計画的な行政運営	2.24	2.24
33	3	小・中学校教育の充実	2.23	2.23
34	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.21	2.21
35	42	将来を見据えた行財政改革の実行	2.18	2.18
36	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.17	2.17
37	36	公共交通の確保	2.16	2.16
38	27	商工業・海運業の振興	2.15	2.15
39	6	生涯学習の機会の充実	2.14	2.14
40	25	魅力ある農林業の推進	2.04	2.04
41	37	地域情報化の推進	2.03	2.03
42	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	1.91	1.91

(4) 吉永地域の満足度

市の取り組み（施策）の満足度に関して、吉永地域において、もっとも満足度が高かった施策は、「生活排水の適正処理」（満足度 3.57）であり、次いで、「安全でおいしい水の安定供給」（満足度 3.08）、「地域に密着した医療サービスの提供」（満足度 2.82）となっています。

No.	施策 No.	施策	満足度	
1	33	生活排水の適正処理	3.57	3.57
2	14	安全でおいしい水の安定供給	3.08	3.08
3	24	地域に密着した医療サービスの提供	2.82	2.82
4	16	消防・防災体制の強化	2.70	2.70
5	23	生涯を通じた健康づくりの推進	2.66	2.66
6	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	2.64	2.64
7	34	道路環境の整備	2.58	2.58
8	39	斎場の運営と墓地の整備	2.58	2.58
9	15	身近な安全・安心対策の充実	2.57	2.57
10	21	高齢者への福祉の充実	2.53	2.53
11	7	公民館・図書館機能の充実	2.48	2.48
12	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金の事務執行	2.45	2.45
13	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	2.38	2.38
14	19	生活自立の支援	2.33	2.33
15	17	河川改修・砂防施設整備	2.32	2.32
16	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	2.31	2.31
17	9	人権問題の解決	2.27	2.27
18	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	2.27	2.27
19	18	ため池・治山対策の推進	2.26	2.26
20	20	障がいのある人への福祉の充実	2.26	2.26
21	4	子育て不安の解消	2.26	2.26
22	3	小・中学校教育の充実	2.25	2.25
23	8	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.22	2.22
24	2	就学前の教育、保育等の充実	2.20	2.20
25	1	家族教育の支援と青少年教育の充実	2.19	2.19
26	6	生涯学習の機会の充実	2.19	2.19
27	36	公共交通の確保	2.18	2.18
28	11	芸術・文化活動の推進	2.10	2.10
29	31	都市施設（都計道路、駐車場、公園・緑地等）	2.08	2.08
30	13	国際交流・地域間交流の推進	2.08	2.08
31	40	環境保全対策の推進	2.06	2.06
32	30	秩序ある土地利用と良好な市街地の形成	2.04	2.04
33	28	にぎわいをもたらす観光の振興	2.04	2.04
34	29	勤労者福祉の推進	2.01	2.01
35	35	港湾・漁港の整備	1.91	1.91
36	5	高校教育における柔軟な学びの場の提供	1.90	1.90
37	37	地域情報化の推進	1.87	1.87
38	27	商工業・海運業の振興	1.81	1.81
39	41	計画的な行政運営	1.81	1.81
40	26	里海づくりを柱とした水産業の振興	1.80	1.80
41	42	将来を見据えた行財政改革の実行	1.78	1.78
42	25	魅力ある農林業の推進	1.68	1.68

7. 市民の行動・感じ方

(1) 教育

子どもへのあいさつや声かけに関する現状

平成 25 年度の調査結果

子どもへのあいさつや声かけ	回答数	割合		n=844
顔見知りの子でもなくても自分から行っている	396	46.9%		396
顔見知りの子どもには自分から行っている	229	27.1%		229
子どもからあいさつされたら応えている	160	19.0%		160
あいさつ、声かけはおこなっていない	38	4.5%		38
無回答	21	2.5%		21
合計	844	100.0%		

子どもへのあいさつや声かけを行っている市民（「顔見知りの子でもなくても自分から行っている」「顔見知りの子どもには自分から行っている」「子どもからあいさつされたら応えている」の合計）は 785 件（93.0%）であり、全体の約 9 割を占めています。

子どもが楽しんで学校生活をおくっているに関する現状

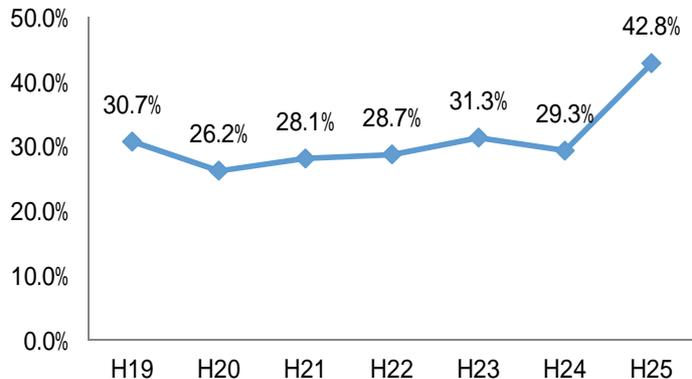
平成 25 年度の調査結果

子どもが楽しんで学校生活をおくっている	回答数	割合		n=844
そう思う	83	9.8%		83
まあそう思う	278	32.9%		278
どちらともいえない	215	25.5%		215
あまりそう思わない	73	8.6%		73
そう思わない	28	3.3%		28
わからない・意見なし	148	17.5%		148
無回答	19	2.3%		19
合計	844	100.0%		

子どもが楽しんで学校生活をおくっていると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 361 件（42.8%）であり、全体の約 4 割を占めています。

過年度の推移

子どもが楽しんで学校生活をおくっていると感じている市民の割合は、約 3 割程度で推移していますが、平成 25 年度は過去 6 年間と比較し、もっとも高くなっています。



備前市は安心して子どもを産み育てることができるかに関する現状

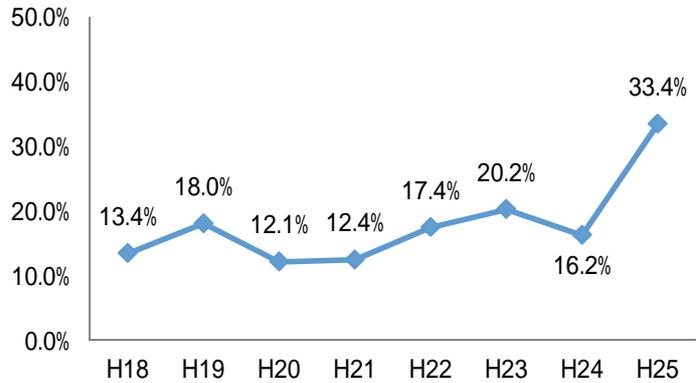
平成 25 年度の調査結果

備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち	回答数	割合		n=844
そう思う	45	5.3%	■ 45	
まあそう思う	237	28.1%	■ 237	
どちらともいえない	239	28.3%	■ 239	
あまりそう思わない	161	19.1%	■ 161	
そう思わない	74	8.8%	■ 74	
わからない 意見なし	60	7.1%	■ 60	
無回答	28	3.3%	■ 28	
合計	844	100.0%		

安心して子どもを産み育てることができるまちだと感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 282 件（33.4%）であり、全体の約 3 割を占めています。

過年度の推移

安心して子どもを産み育てることができるまちだと感じている市民の割合は、過去 7 年間は 1～2 割で推移していますが、平成 25 年度は過去 7 年間と比較し、もっとも高くなっています。



(2) 自己実現

自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やグループ活動への参加に関する現状

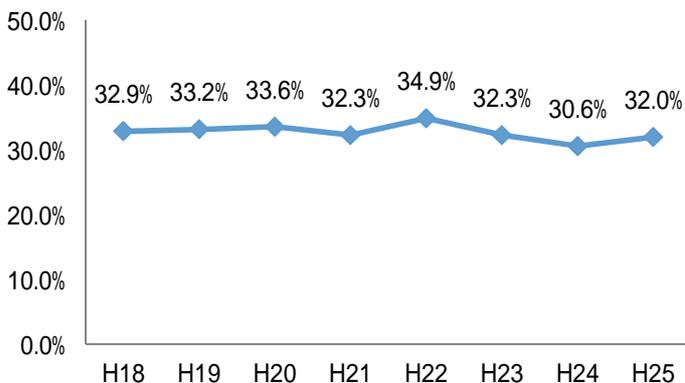
平成 25 年度の調査結果

自発的な学習、趣味の会やグループ活動への参加	回答数	割合		n=844
参加している	270	32.0%	270	
参加していない	560	66.4%	560	
無回答	14	1.7%	14	
合計	844	100.0%		

自発的な学習、趣味の会やグループ活動へ参加している市民は 270 件（32.0%）であり、全体の約 3 割を占めています。

過年度の推移

自発的な学習、趣味の会やグループ活動へ参加している市民の割合は、約 3 割程度で推移しています。



市の図書館の利用状況に関する現状

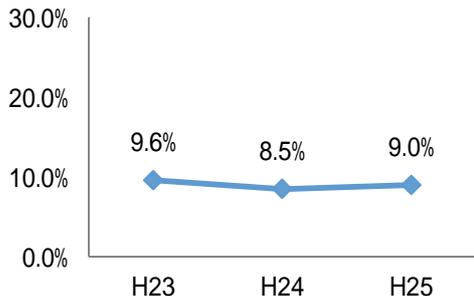
平成 25 年度の調査結果

市の図書館(日生・吉永分館を含む)の利用	回答数	割合		n=844
ほとんど毎日利用している	3	0.4%	3	
週1回程度利用している	10	1.2%	10	
月に2~3回程度利用している	30	3.6%	30	
1ヵ月に1回程度利用している	33	3.9%	33	
年数回程度利用している	117	13.9%	117	
この1年間利用していない	620	73.5%	620	
無回答	31	3.7%	31	
合計	844	100.0%		

市の図書館を月 1 回以上利用している市民（「ほとんど毎日利用している」「週 1 回程度利用している」「月に 2 ~ 3 回程度利用している」「1 ヶ月に 1 回程度利用している」の合計）は 76 件（9.0%）であり、全体の約 1 割を占めています。

過年度の推移

市の図書館を月 1 回以上利用している市民の割合は、約 1 割で推移しています。



スポーツ（運動）への取り組みに関する現状

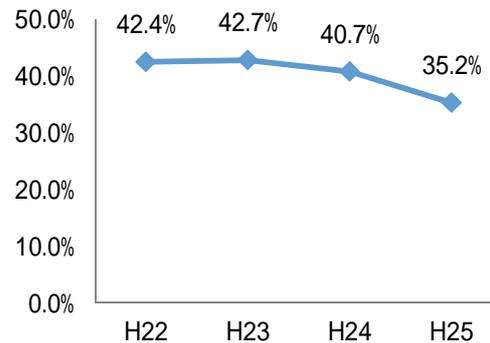
平成 25 年度の調査結果

スポーツ（運動）への取り組み	回答数	割合		n=844
週に2回以上している	172	20.4%	172	
週に1回はしている	125	14.8%	125	
ほとんどしていない	531	62.9%	531	
無回答	16	1.9%	16	
合計	844	100.0%		

週に 1 回以上運動をしている市民（「週に 2 回以上している」「週に 1 回はしている」の合計）は、297 件（35.2%）であり、全体の約 3 割を占めています。

過年度の推移

週に 1 回以上運動をしている市民の割合は、約 4 割で推移していますが、年々減少傾向となっています。



地域や職場で男女が対等に活躍できているに関する現状

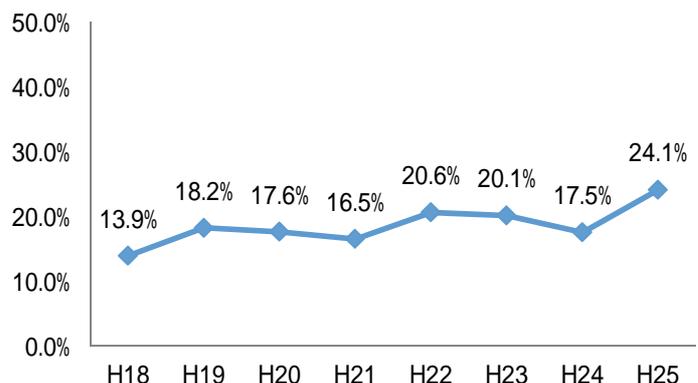
平成 25 年度の調査結果

地域や職場で男女が対等に活躍できている	回答数	割合		n=844
そう思う	43	5.1%	43	
まあそう思う	160	19.0%	160	
どちらともいえない	239	28.3%	239	
あまりそう思わない	155	18.4%	155	
そう思わない	123	14.6%	123	
わからない・意見なし	105	12.4%	105	
無回答	19	2.3%	19	
合計	844	100.0%		

地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は 203 件（24.1%）であり、全体の約 3 割を占めています。

過年度の推移

地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合は、1～2 割で推移していますが、平成 25 年度は過去 7 年間と比較し、もっとも高くなっています。



閑谷学校のことを来訪者へ説明できるかに関する現状

平成 25 年度の調査結果

閑谷学校のことを来訪者へ説明できる	回答数	割合		n=844
閑谷学校の歴史を十分理解したうえで説明できる	15	1.8%	15	
簡単な内容なら説明できる	181	21.4%	181	
少しは説明できる	321	38.0%	321	
説明できない	306	36.3%	306	
無回答	21	2.5%	21	
合計	844	100.0%		

閑谷学校のことを来訪者へ説明できる市民（「閑谷学校の歴史を十分理解したうえで説明できる」「簡単な内容なら説明できる」「少しは説明できる」の合計）は 517 件（61.2%）であり、全体の約 6 割を占めています。

この 1 年間に芸術・文化に接する機会に関する現状

平成 25 年度の調査結果

この1年間に芸術・文化に接する機会	回答数	割合		n=844
美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った	343	40.6%	343	
演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術活動を行った	65	7.7%	65	
鑑賞や文化芸術活動は行わなかった	398	47.2%	398	
無回答	38	4.5%	38	
合計	844	100.0%		

この 1 年間に芸術・文化に接する機会があった市民（「美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った」「演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術活動を行った」の合計）は 408 件（48.3%）であり、全体の約 5 割を占めています。

(3) コミュニティ

この1年間におけるボランティア活動に関する現状

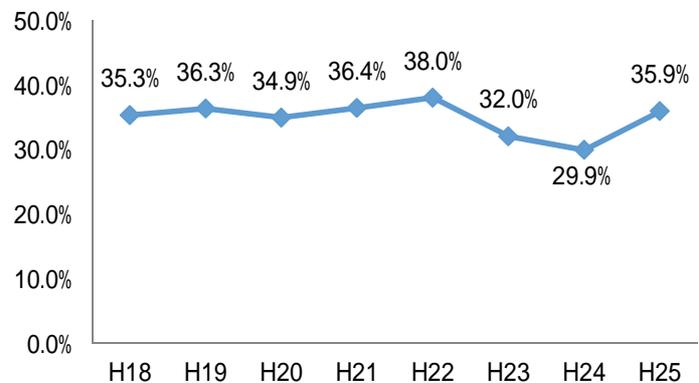
平成25年度の調査結果

ボランティア活動への取り組み	回答数	割合		n=844
ある	303	35.9%	303	
ない	515	61.0%	515	
無回答	26	3.1%	26	
合計	844	100.0%		

この1年間でボランティア活動に取り組んだ市民は、303件（35.9%）であり、全体の約4割を占めています。

過年度の推移

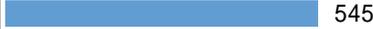
この1年間でボランティア活動に取り組んだ市民の割合は、3～4割で推移していますが、平成25年度は直近2年間と比べて、高くなっています。



(4) 安心・安全

交通マナーに関する現状

平成 25 年度の調査結果

交通マナー	回答数	割合		n=844
守っている	545	64.6%		545
だいたい守っている	277	32.8%		277
あまり守られていない	5	0.6%		5
無回答	17	2.0%		17
合計	844	100.0%		

交通マナーを守っている市民（「守っている」「だいたい守っている」の合計）は、822 件（97.4%）であり、全体の 9 割以上を占めています。

子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等への協力に関する現状

平成 25 年度の調査結果

地域の防犯活動等への協力	回答数	割合		n=844
協力している	221	26.2%		221
時々協力している(これから協力したい)	465	55.1%		465
協力していない(協力したくない)	134	15.9%		134
無回答	24	2.8%		24
合計	844	100.0%		

子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等への協力をしている市民（「協力している」「時々協力している（これから協力したい）」の合計）は 686 件（81.3%）であり、全体の約 8 割を占めています。

この 1 年間に消費者トラブルに関する現状

平成 25 年度の調査結果

消費者トラブル	回答数	割合		n=844
被害にあった	16	1.9%		16
請求書等受けたが防いだ	29	3.4%		29
トラブル等はなかった	777	92.1%		777
無回答	22	2.6%		22
合計	844	100.0%		

この 1 年間に消費者トラブルの被害にあった市民は 16 件（1.9%）となっています。

災害等に備えた備蓄品を 3 日分準備しているに関する現状

平成 25 年度の調査結果

災害等に備えた備蓄品	回答数	割合		n=844
用意している	157	18.6%	157	
用意していない	662	78.4%	662	
無回答	25	3.0%	25	
合計	844	100.0%		

災害等に備えた備蓄品を 3 日分準備している市民は 157 件（18.6%）であり、全体の約 2 割を占めています。

お住まいの地区の避難所に関する現状

平成 25 年度の調査結果

避難所の場所	回答数	割合		n=844
知っている	574	68.0%	574	
知らない	240	28.4%	240	
無回答	30	3.6%	30	
合計	844	100.0%		

お住まいの地区の避難所の場所を知っている市民は 574 件（68.0%）であり、全体の約 7 割を占めています。

自分の健康に気をつけているに関する現状

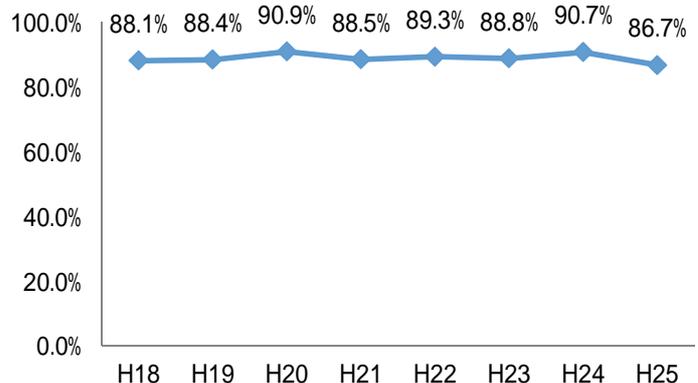
平成 25 年度の調査結果

自分の健康	回答数	割合		n=844
気をつけている	732	86.7%	732	
気をつけていない	85	10.1%	85	
無回答	27	3.2%	27	
合計	844	100.0%		

自分の健康に気をつけている市民は 732 件（86.7%）であり、全体の約 9 割を占めています。

過年度の推移

自分の健康に気をつけている市民の割合は、約 9 割で推移していますが、平成 25 年は、過去 7 年間と比較し、もっとも低くなっています。



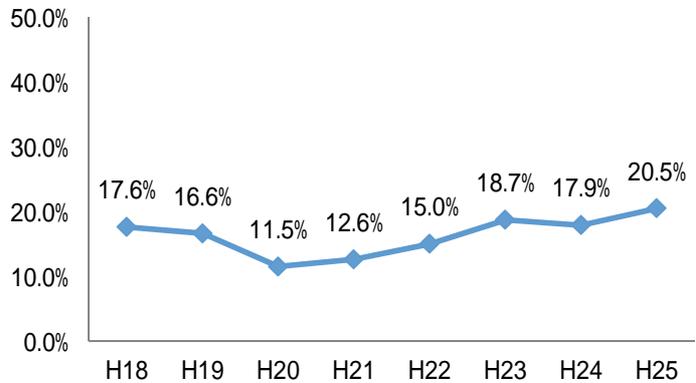
高齢者が安心して生活できるまちだと感じているかに関する現状

平成 25 年度の調査結果

高齢者が安心して生活できるまち	回答数	割合		n=844
そう思う	18	2.1%	18	
まあそう思う	155	18.4%	155	
どちらともいえない	248	29.4%	248	
あまりそう思わない	204	24.2%	204	
そう思わない	159	18.8%	159	
わからない・意見なし	39	4.6%	39	
無回答	21	2.5%	21	
合計	844	100.0%		

高齢者が安心して生活できるまちだと感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、173 件（20.5%）であり、全体の約 2 割となっています。

過年度の推移
 高齢者が安心して生活できるまちだと感じている市民の割合は 1～2 割で推移していますが、平成 25 年度は過去 7 年間で比較し、もっとも高くなっています。



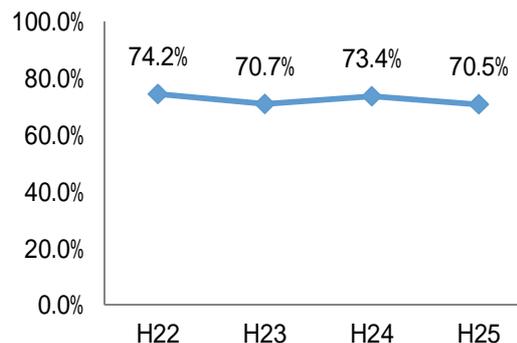
市や職場、医療機関等で健康診査（血圧・尿・血液検査等）の受診に関する現状

平成 25 年度の調査結果

健康診査の受診	回答数	割合		n=844
毎年受けている	595	70.5%	595	
2～3年に1回受けている	89	10.5%	89	
ほとんど受けていない	135	16.0%	135	
無回答	25	3.0%	25	
合計	844	100.0%		

健康診査を毎年受けている市民は 595 件（70.5%）であり、全体の約 7 割を占めています。

過年度の推移
 健康診査を毎年受けている市民の割合は、約 7 割で推移していますが、平成 25 年度は、過去 3 年間で比較し、もっとも低くなっています。



喫煙に関する現状

平成 25 年度の調査結果

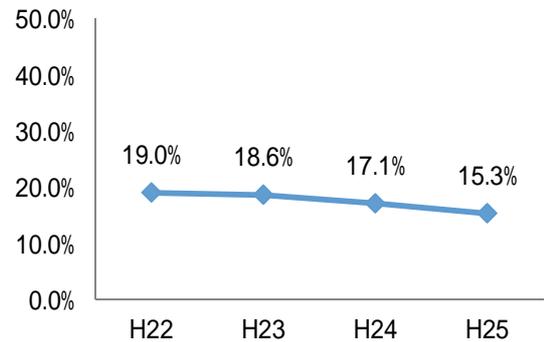
喫煙	回答数	割合	
吸う	129	15.3%	129
吸わない	587	69.5%	587
吸っていたがやめた	109	12.9%	109
無回答	19	2.3%	19
合計	844	100.0%	

n=844

たばこを吸っている市民は 129 件 (15.3%) であり、全体の約 2 割となっています。

過年度の推移

たばこを吸っている市民の割合は、約 2 割で推移していますが、平成 25 年度は過去 3 年間と比較し、もっとも低くなっています。



(5) 快適・活力

公共交通の利用状況に関する現状

平成 25 年度の調査結果

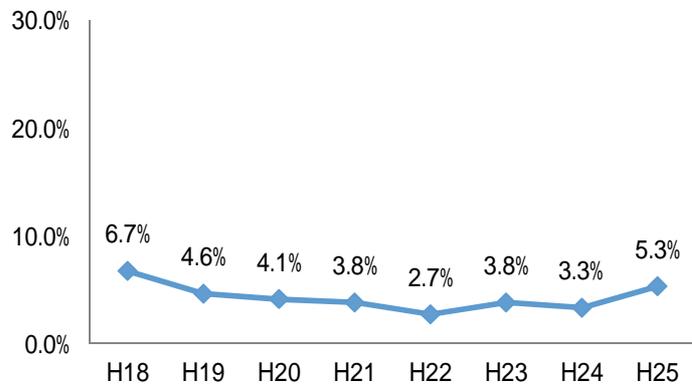
公共交通の利用状況	回答数	割合		n=844
利用している	45	5.3%	■ 45	
利用していない	768	91.0%	■ 768	
無回答	31	3.7%	■ 31	
合計	844	100.0%		

週 1 回以上公共交通を利用している市民は 45 件 (5.3%) となっています。

過年度の推移

週 1 回以上公共交通を利用している市民の割合は、1 割以下で推移していますが、平成 25 年度は過去 6 年間と比較し、もっとも高くなっています。

なお、平成 24 年度までは、週 1 回以上市内路線バスを利用している市民の割合を示しています。



仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) に関する現状に関する現状

平成 25 年度の調査結果

仕事と生活の調和	回答数	割合		n=844
思う	126	14.9%	■ 126	
少しはとれていると思う	298	35.3%	■ 298	
思わない	172	20.4%	■ 172	
わからない	89	10.5%	■ 89	
仕事をしていない	113	13.4%	■ 113	
無回答	46	5.5%	■ 46	
合計	844	100.0%		

仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) がとれていると感じている市民 (「思う」「少しはとれていると思う」の合計) は、424 件 (50.2%) であり、全体の約 5 割を占めています。

インターネットの利用状況に関する現状

平成 25 年度の調査結果

インターネットの利用	回答数	割合		n=844
毎日のように利用している	222	26.3%		222
時々利用している	221	26.2%		221
ほとんど利用していない	68	8.1%		68
全く利用していない	315	37.3%		315
無回答	18	2.1%		18
合計	844	100.0%		

インターネットを利用している市民（「毎日のように利用している」「時々利用している」の合計）は 443 件（52.5%）であり、全体の約 5 割を占めています。

インターネットの活用	回答数	割合		n=844
ホームページの閲覧	345	40.9%		345
ショッピング・オークション	276	32.7%		276
電子メールの送受信	236	28.0%		236
地図情報サービスの利用	235	27.8%		235
動画配信サービスの利用	115	13.6%		115
ソーシャルメディアの利用	82	9.7%		82
電子政府・電子自治体の利用	30	3.6%		30
その他	63	7.5%		63
無回答	10	1.2%		10
合計	1,392			

インターネットの活用方法は、「ホームページの閲覧」が 345 件（40.9%）、「ショッピング・オークション」が 276 件（32.7%）、「電子メールの送受信」が 236 件（28.0%）、「地図情報サービスの利用」が 235 件（27.8%）となっています。

地球温暖化防止への取り組みに関する現状

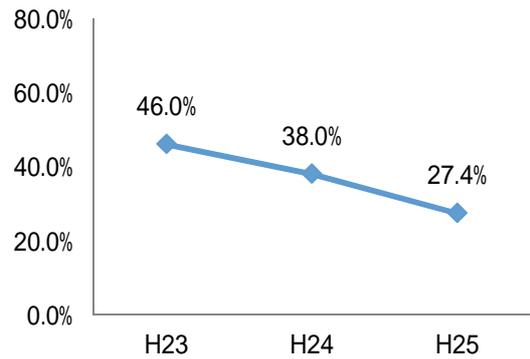
平成 25 年度の調査結果

地球温暖化防止への取り組み	回答数	割合		n=844
取り組んでいる	231	27.4%	 231	
取り組んでいない	577	68.4%	 577	
無回答	36	4.3%	 36	
合計	844	100.0%		

地域温暖化防止に取り組んでいる市民は 231 件（27.4%）であり、約 3 割を占めています。

過年度の推移

地域温暖化防止に取り組んでいる市民の割合は
年々減少傾向となっています。



(6) 計画推進

市の窓口対応に関する現状

平成 25 年度の調査結果

市の窓口対応	回答数	割合		n=844
満足している	420	49.8%	420	
満足していない	201	23.8%	201	
この1年間、市役所(総合支所)へ行っていない	193	22.9%	193	
無回答	30	3.6%	30	
合計	844	100.0%		

市の窓口対応に満足している市民は、420件(49.8%)であり、全体の約5割を占めています。

市の情報公開に関する現状

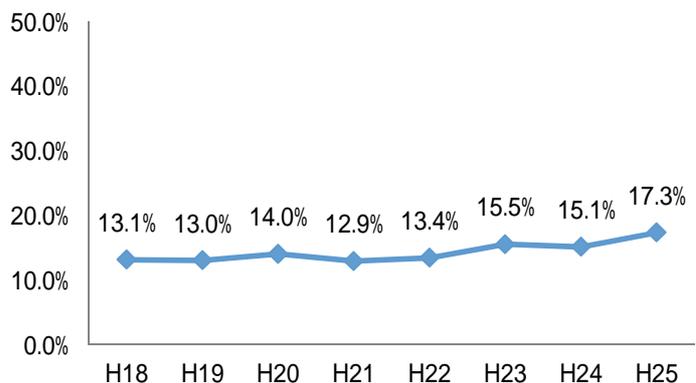
平成 25 年度の調査結果

市の情報公開が進んでいる	回答数	割合		n=844
そう思う	17	2.0%	17	
まあそう思う	129	15.3%	129	
どちらともいえない	308	36.5%	308	
あまりそう思わない	128	15.2%	128	
そう思わない	79	9.4%	79	
わからない・意見なし	161	19.1%	161	
無回答	22	2.6%	22	
合計	844	100.0%		

市の情報公開が進んでいると感じている市民(「そう思う」「まあそう思う」の合計)は146件(17.3%)であり、約2割を占めています。

過年度の推移

市の情報公開が進んでいると感じている市民の割合は、1~2割で推移していますが、平成25年度は、過去7年間と比較し、もっとも高くなっています。



広報びぜんに関する現状

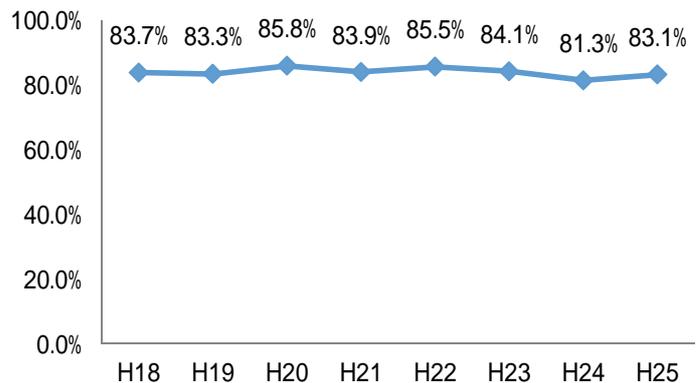
平成 25 年度の調査結果

広報びぜんを読んでいる	回答数	割合		n=844
読んでいる	701	83.1%		701
読んでいない	119	14.1%		119
無回答	24	2.8%		24
合計	844	100.0%		

広報びぜんを読んでいる市民は 701 件（83.1%）であり、全体の約 8 割を占めています。

過年度の推移

広報びぜんを読んでいる市民の割合は、約 8 割で推移しています。



市の行財政改革に関する現状

平成 25 年度の調査結果

市の行財政改革が進んでいる	回答数	割合		n=844
そう思う	10	1.2%		10
まあそう思う	48	5.7%		48
どちらともいえない	221	26.2%		221
あまりそう思わない	233	27.6%		233
そう思わない	162	19.2%		162
わからない・意見なし	151	17.9%		151
無回答	19	2.3%		19
合計	844	100.0%		

市の行財政改革が進んでいると感じている市民（「そう思う」「まあそう思う」）は 58 件（6.9%）となっています。

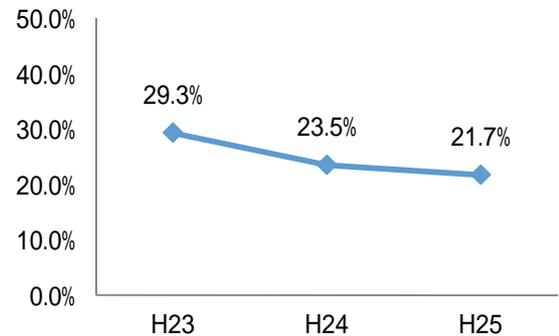
市議会議員の活動内容に関する現状

平成 25 年度の調査結果

市議会議員の活動内容	回答数	割合		n=844
知っている	183	21.7%	183	
知らない	497	58.9%	497	
関心がない	135	16.0%	135	
無回答	29	3.4%	29	
合計	844	100.0%		

市議会議員の活動内容を知っている市民は 183 件（21.7%）であり、全体の約 2 割を占めています。

過年度の推移
市議会議員の活動内容を知っている市民の割合は年々減少傾向となっており、平成 25 年度は過去 2 年間で比較し、もっとも低くなっています。



市議会だよりに関する現状

平成 25 年度の調査結果

市議会だより	回答数	割合		n=844
全部読んでいる	131	15.5%	131	
関心のある記事だけ読んでいる	464	55.0%	464	
読んでいない	232	27.5%	232	
無回答	17	2.0%	17	
合計	844	100.0%		

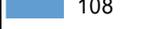
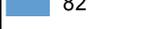
市議会だよりを読んでいる市民（「全部読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」の合計）は 595 件（70.5%）であり、全体の約 7 割を占めています。

市議会だよりを読んでいない理由	回答数	割合		n=232
市議会だよりを知らない	100	43.1%	100	
記事が難しい	47	20.3%	47	
その他	60	25.9%	60	
無回答	25	10.8%	25	
合計	232	100.0%		

市議会だよりを読んでいない理由は、「市議会だよりを知らない」が 100 件（43.1%）、「記事が難しい」が 47 件（20.3%）となっています。

コンビニでの証明書等の発行サービス導入に関する現状

平成 25 年度の調査結果

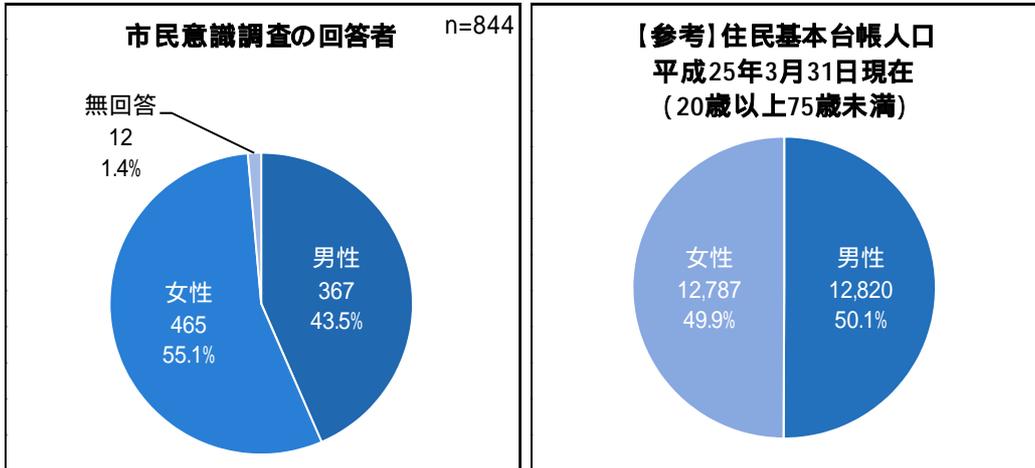
コンビニでの証明書等の発行サービス導入	回答数	割合		n=844
夜間・早朝も利用できるなど便利になるが、他市町の導入状況やコストを考えて慎重に取り組むべきである	305	36.1%		305
勤務先など他市町内のコンビニで住民票などが入手でき、市民サービスが向上するので是非導入すべきである	196	23.2%		196
導入する必要はない	153	18.1%		153
よくわからない	108	12.8%		108
無回答	82	9.7%		82
合計	844	100.0%		

コンビニでの証明書等の発行サービス導入について、「夜間・早朝も利用できるなど便利になるが、他市町の導入状況やコストを考えて慎重に取り組むべきである」が 305 件（36.1%）、「勤務先など他市町内のコンビニで住民票などが入手でき、市民サービスが向上するので是非導入すべきである」が 196 件（23.2%）となっています。

9 . 回答者の属性

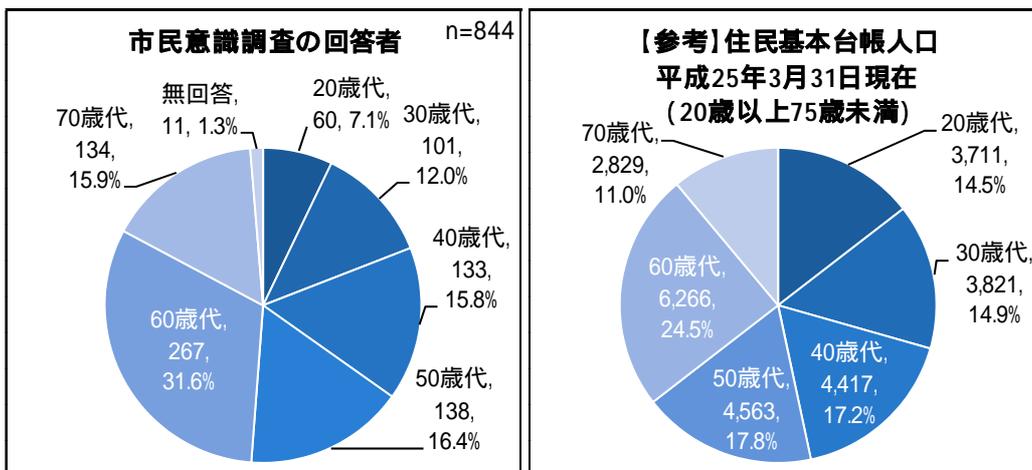
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が 43.5%、「女性」が 55.1%となっています。また、平成 25 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「男性」の回答割合が低くなっています。



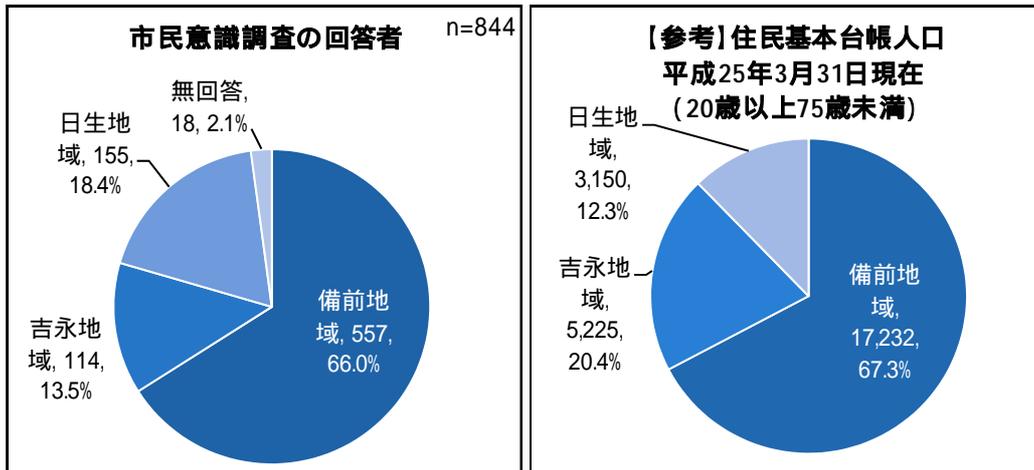
(2) 年齢

回答者の年齢は、「60 歳代」が 31.6%と最も高い割合となっており、次いで、「50 歳代」が 16.4%、「70 歳代」が 15.9%となっています。また、平成 25 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「20 歳代」及び「30 歳代」の回答割合が低く、「60 歳代」及び「70 歳代」の回答割合が高くなっています。



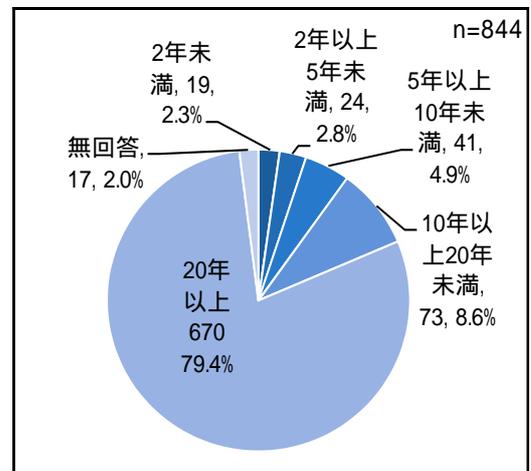
(3) 居住地

回答者の居住地は、「備前地域」が 66.0%、「日生地域」が 18.4%、「吉永地域」が 13.5% となっています。また、平成 25 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「日生地域」及び「吉永地域」の回答割合が低くなっています。



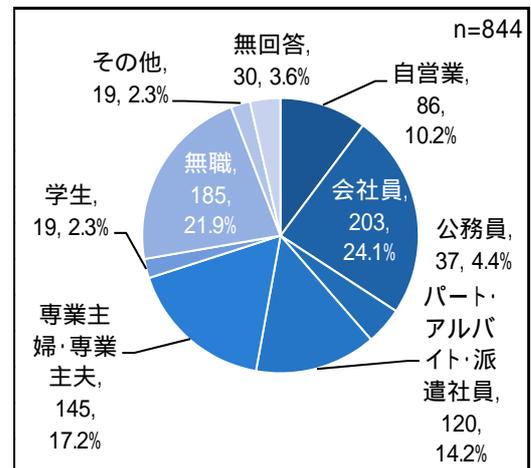
(4) 居住年数

回答者の居住年数は、「20 年以上」が 79.4% ともっとも高い割合となっており、次いで、「10 年以上 20 年未満」が 8.6%、「5 年以上 10 年未満」が 4.9% となっています。

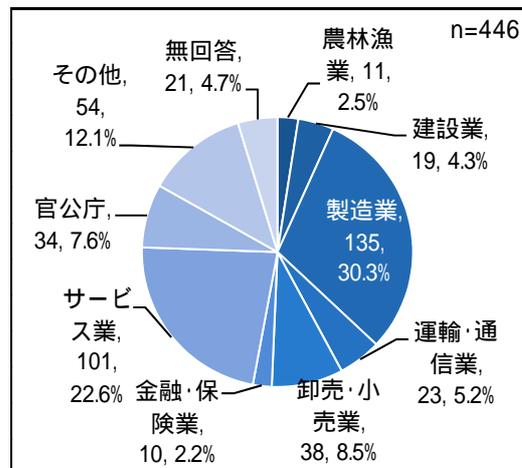


(5) 職業及び業種

回答者の職業は、「会社員」が 24.1% ともっとも高い割合となっており、次いで、「無職」が 21.9%、「専業主婦・主夫」が 17.2% となっています。

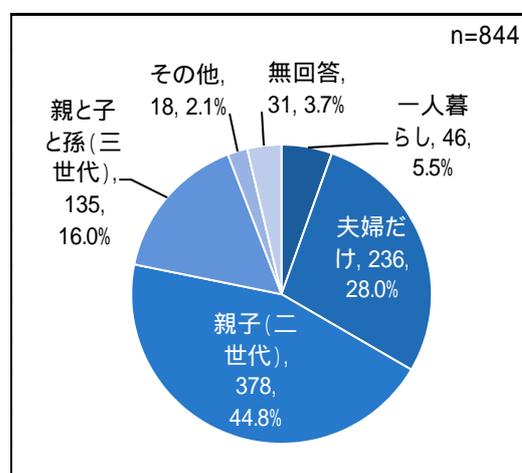


また、「自営業」「会社員」「公務員」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した 446 人の業種は、「製造業」が 30.3%、「サービス業」が 22.6%となっています。



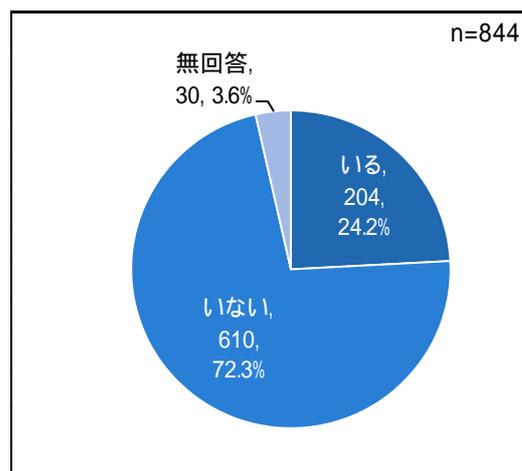
(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（二世代）」が 44.8%、「夫婦だけ」が 28.0%、「親子と孫（三世代）」が 16.0%となっています。

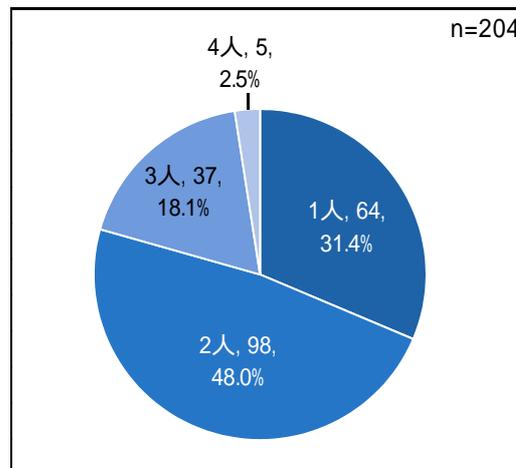


(7) 子どもの有無及び子どもの人数

回答者の現在養育中の子どもの有無は、「いない」が 72.3%、「いる」が 24.2%となっています。

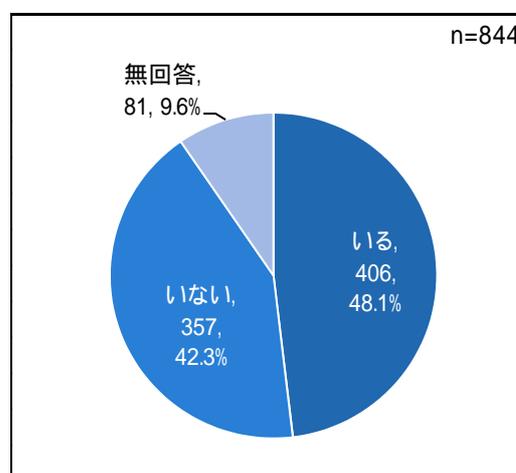


また、現在養育中の子どもが「いる」と回答した204人の子どもの人数は、「2人」が48.0%、「1人」が31.4%、「3人」が18.1%となっています。



(8) 高齢者の有無

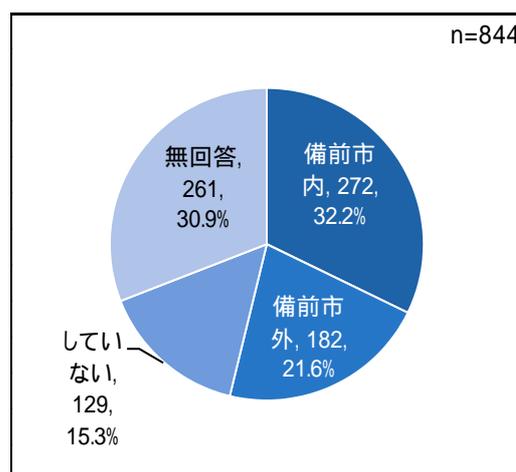
回答者の同居の家族（ご自身以外）に65歳以上の高齢者の有無は、「いる」が48.1%、「いない」が42.3%となっています。



(9) 生活行動範囲

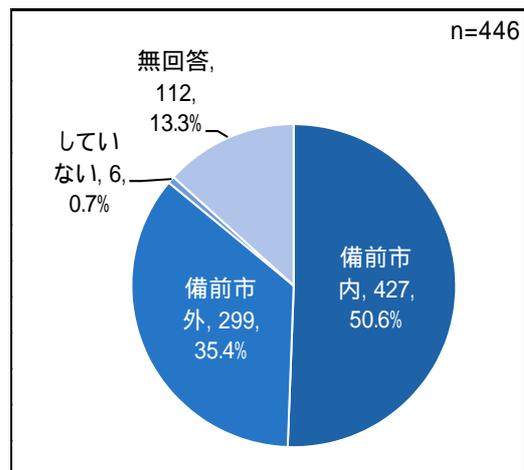
通勤・通学

回答者の通勤・通学先は、「備前市内」が32.2%、「備前市外」が21.6%となっています。



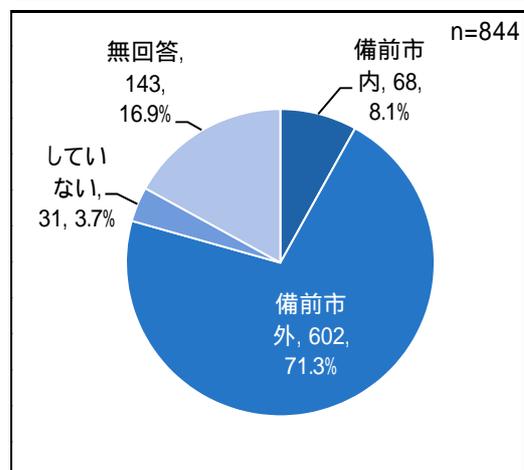
食料品・日用品の買物

回答者の食料品・日用品の買物先は、「備前市内」が50.6%、「備前市外」が35.4%となっています。



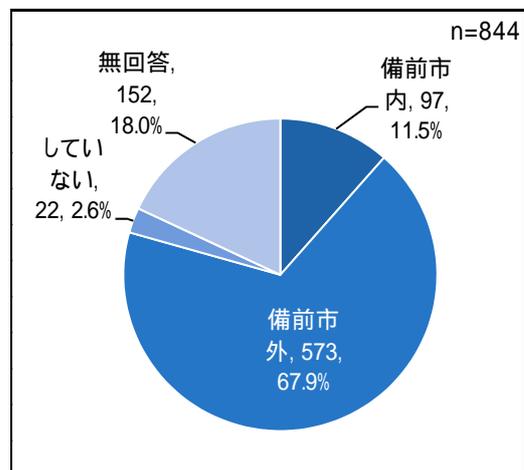
嗜好品や高価な買物

回答者の嗜好品や高価な買物先は、「備前市内」が8.1%、「備前市外」が71.3%となっています。



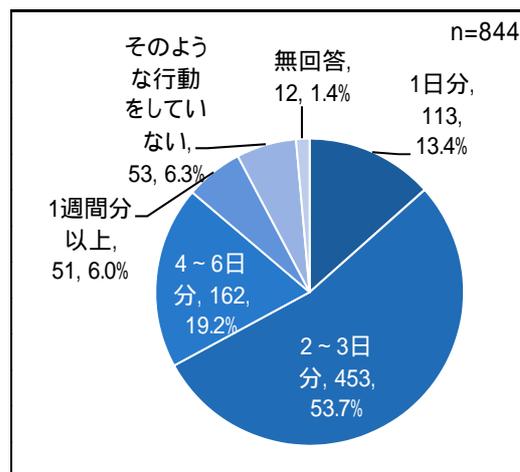
レストラン・飲食店

回答者のレストラン・飲食店の行き先は、「備前市内」が11.5%、「備前市外」が67.9%となっています。



(10) 1回あたりの買物量

回答者の1回あたりの買物量は、「2～3日分」が53.7%、「4～6日分」が19.2%、「1日分」が13.4%となっています。



(11) 用する医療機関

回答者の利用する医療機関は、「市内の民間病院・医院等」が28.7%、「市外の病院・医院等」が28.2%となっています。

